

令和 2 年 度

R 2 三 土 国道 3 1 9 号 三・山城小川谷 道路改良工事

一般国道 国道 3 1 9 号

三好市山城町小川谷

設 計 図 面

縮 小 図 面

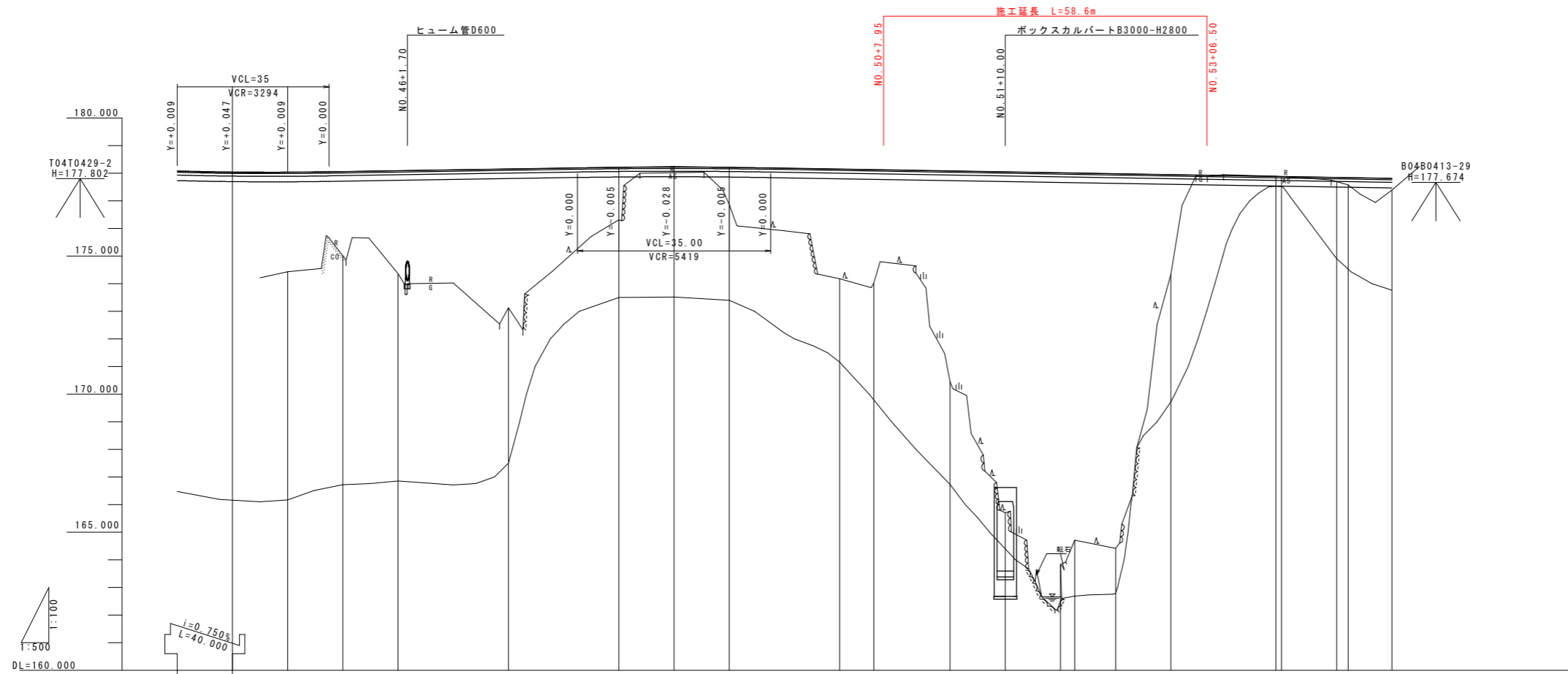
西 部 総 合 県 民 局 県 土 整 備 部 < 三 好 > 道 路 担 当

平面図 S=1:500



実施設計図面	
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	平面図
縮尺	1:500
図面番号	1 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)

縦断図 V=1:100, H=1:500



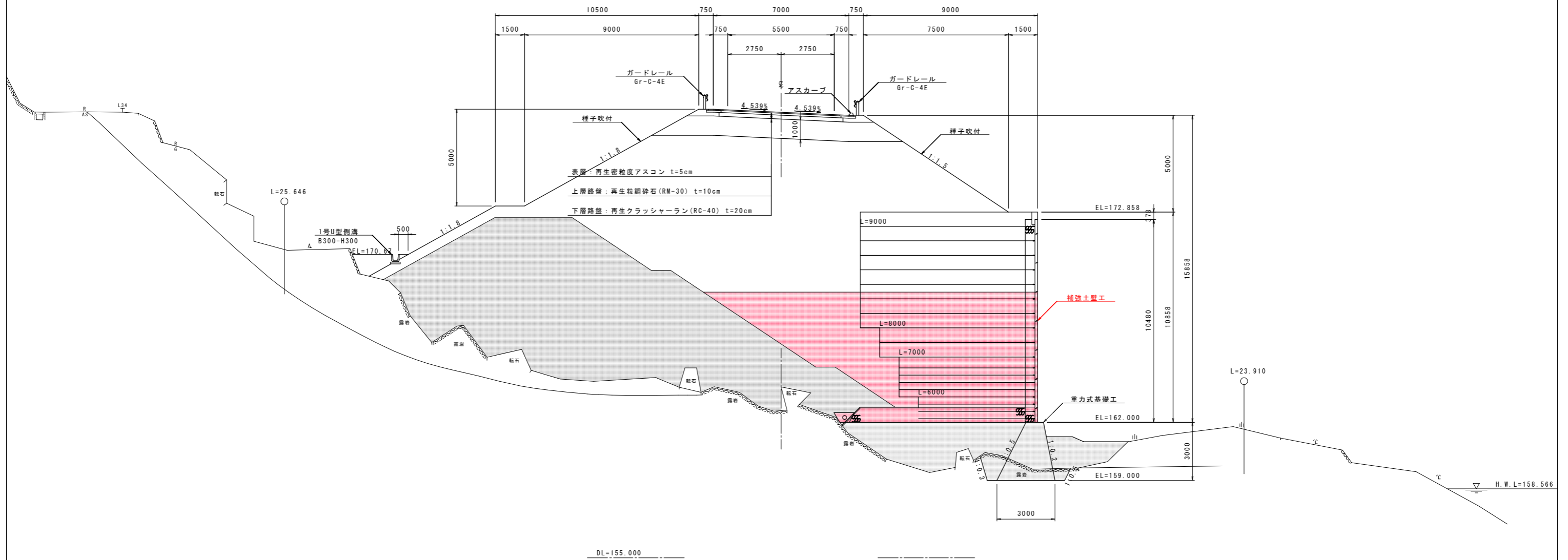
勾配	178.000		$i=0.313\%$ L=80.000		178.250		$i=0.333\%$ L=150.000	
盛土高		3.60	2.97	3.73	5.02	1.90	0.20	1.35
切土高								
計画高	178.084	178.047	178.040	178.063	178.156	178.214	178.222	178.212
地盤高			174.436	175.097	174.364	173.132	176.316	174.177
追加距離	880.000	890.000	900.000	910.000	920.000	940.000	960.000	1000.000
点間距離	20.000	10.000	10.000	10.000	10.000	20.000	20.000	6.161
測点	NO.44	+10.000	NO.45	+10.000	NO.46	NO.47	NO.48	+10.000
曲率	$R=\infty$				$L=36.423$ $A=80.000$			
片勾配					$L=36.423$ $A=80.000$			
拡幅					$R=\infty$ $L=13.092$ $A=80.000$			

実施設計図面	
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	縦断図
縮尺	V=1:100 H=1:500
図面番号	2 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)

標準横断面図 S=1:100

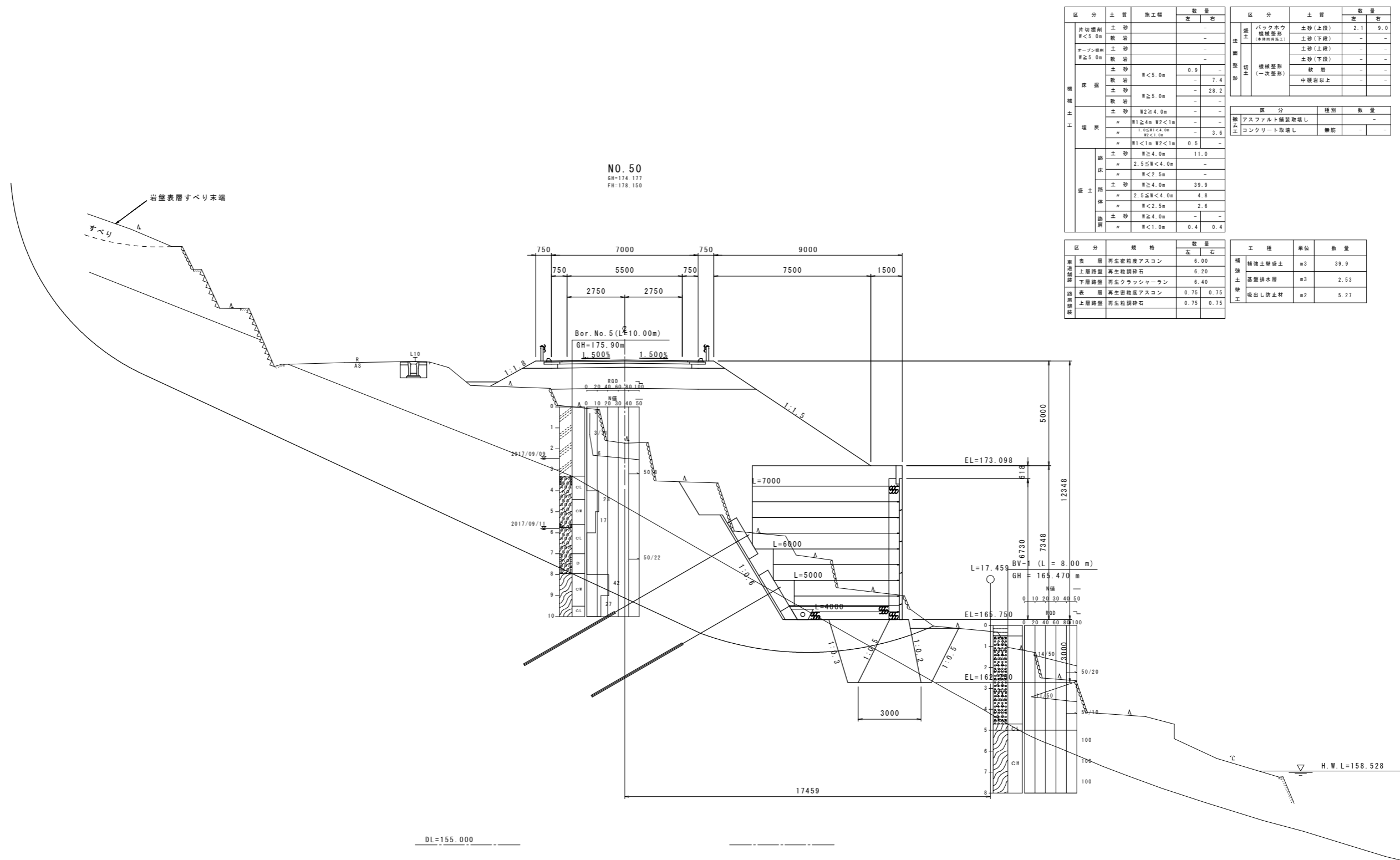
補強土壁工

NO. 52
GR=163.832
FH=178.017



実施設計図面			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	標準横断面図		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局〈三好庁舎〉		

横断図 (1) S=1:100

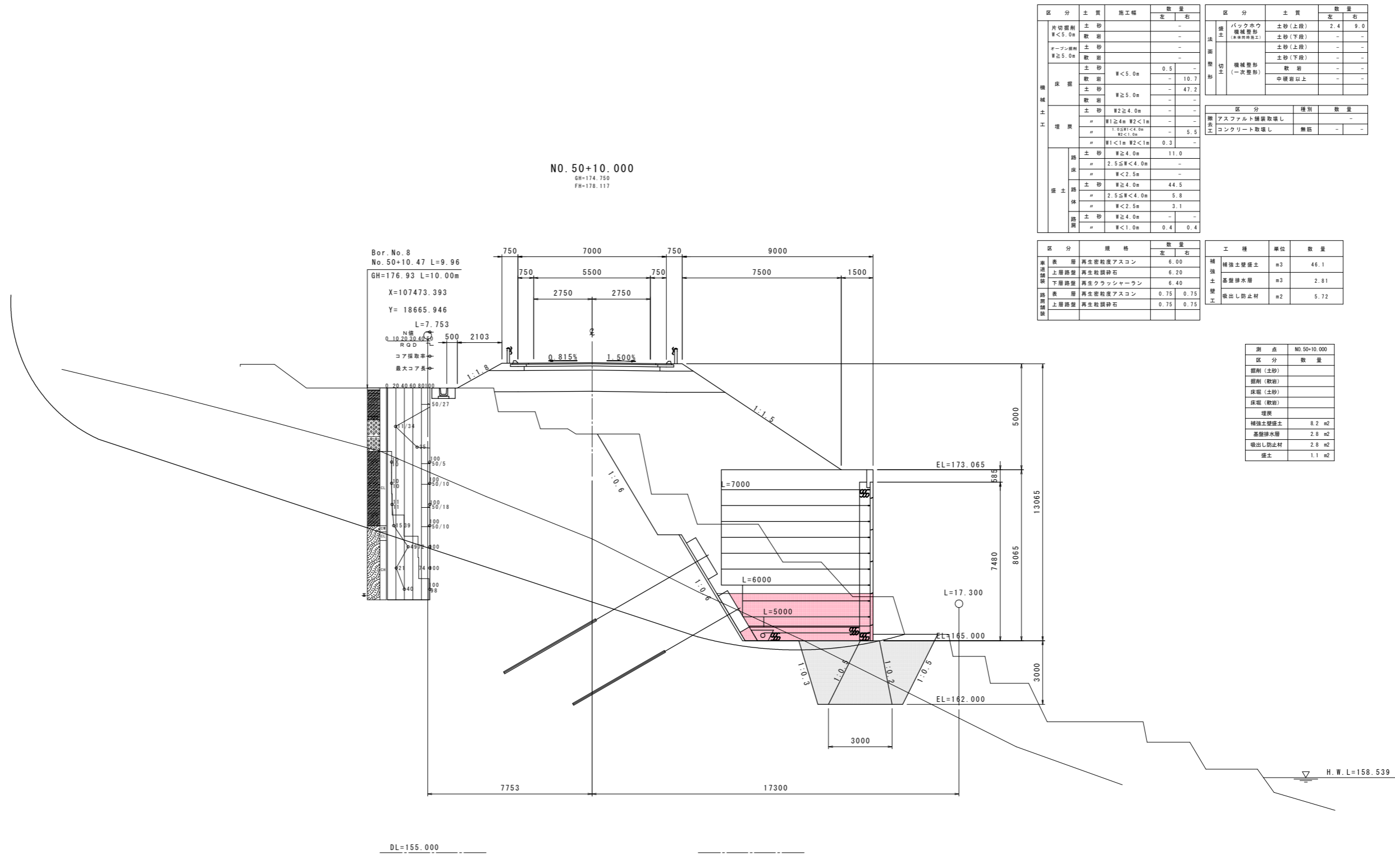


区分	土質	施工幅	数量		区分	土質	数量			
			左	右			左	右		
機 構 土 工	片切側削	土砂	-	-	法 面 切 土	バックホウ 機械整形	土砂(上段)	2.1	9.0	
	側溝	土砂	-	-		土砂(下段)	-	-	-	
	側溝	土砂	-	-		土砂(上段)	-	-	-	
	側溝	土砂	-	-		土砂(下段)	-	-	-	
	埋 戻	土砂	W<5.0m	0.9	-	機 構 土 工	機械整形 (一次整形)	軟岩	-	-
		土砂	W<5.0m	-	7.4		中硬岩以上	-	-	
		土砂	W≥5.0m	-	28.2					
		土砂	W≥4.0m	-	-					
		土砂	W1≥4m W2<1m	-	-					
		土砂	W1<1m W2<1m	0.5	-					
路 床	土砂	W≥4.0m	11.0	-	区分					
	土砂	2.5≤W<4.0m	-	-	種類	数量				
	土砂	W<2.5m	-	-	アスファルト舗装取壊し	-				
	土砂	W≥4.0m	39.9	-	コンクリート取壊し	-				
路 体	土砂	W≥4.0m	4.8	-						
	土砂	2.5≤W<4.0m	2.6	-						
	土砂	W<2.5m	-	-						
路 肩	土砂	W≥4.0m	-	-						
	土砂	W<1.0m	0.4	0.4						

区分	規格	数量		工 程	単 位	数 量
		左	右			
表層	再生粒度アスコン	6.00	-	補 強 土 壁 工	m3	39.9
上層路盤	再生粒状砂石	6.20	-			
下層路盤	再生クラッシャーラン	6.40	-			
表層	再生粒度アスコン	0.75	0.75	工	m2	5.27
上層路盤	再生粒状砂石	0.75	0.75			

実施設計図面 NO. 50			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)		

横断図 (2) S=1:100



NO. 50+10.000
GH=174.750
FH=178.117

Bor. No. 8
No. 50+10.47 L=9.96
GH=176.93 L=10.00m
X=107473.393
Y=18665.946
L=7.753

区分	土質	施工種	数量	
			左	右
機	片切側削	土砂	-	-
	断面	敷	-	-
	断面	土砂	-	-
	断面	敷	-	-
機	土砂	W<5.0m	0.5	-
	敷		-	10.7
	土砂	W≥5.0m	-	47.2
	敷		-	-
機	土砂	W≥4.0m	-	-
	敷		-	-
	土砂	W1≥4m W2<1m	-	-
	敷		-	5.5
機	土砂	W1<1m W2<1m	0.3	-
	敷		-	-
	土砂	W≥4.0m	11.0	-
	敷		-	-
機	土砂	2.5≤W<4.0m	-	-
	敷		-	-
	土砂	W<2.5m	44.5	-
	敷		-	-
機	土砂	2.5≤W<4.0m	5.8	-
	敷		-	-
	土砂	W<2.5m	3.1	-
	敷		-	-
機	土砂	W≥4.0m	-	-
	敷		-	-
機	土砂	W<1.0m	0.4	0.4
	敷		-	-

区分	種類	数量
機	アスファルト舗装取壊し	-
機	コンクリート取壊し	-

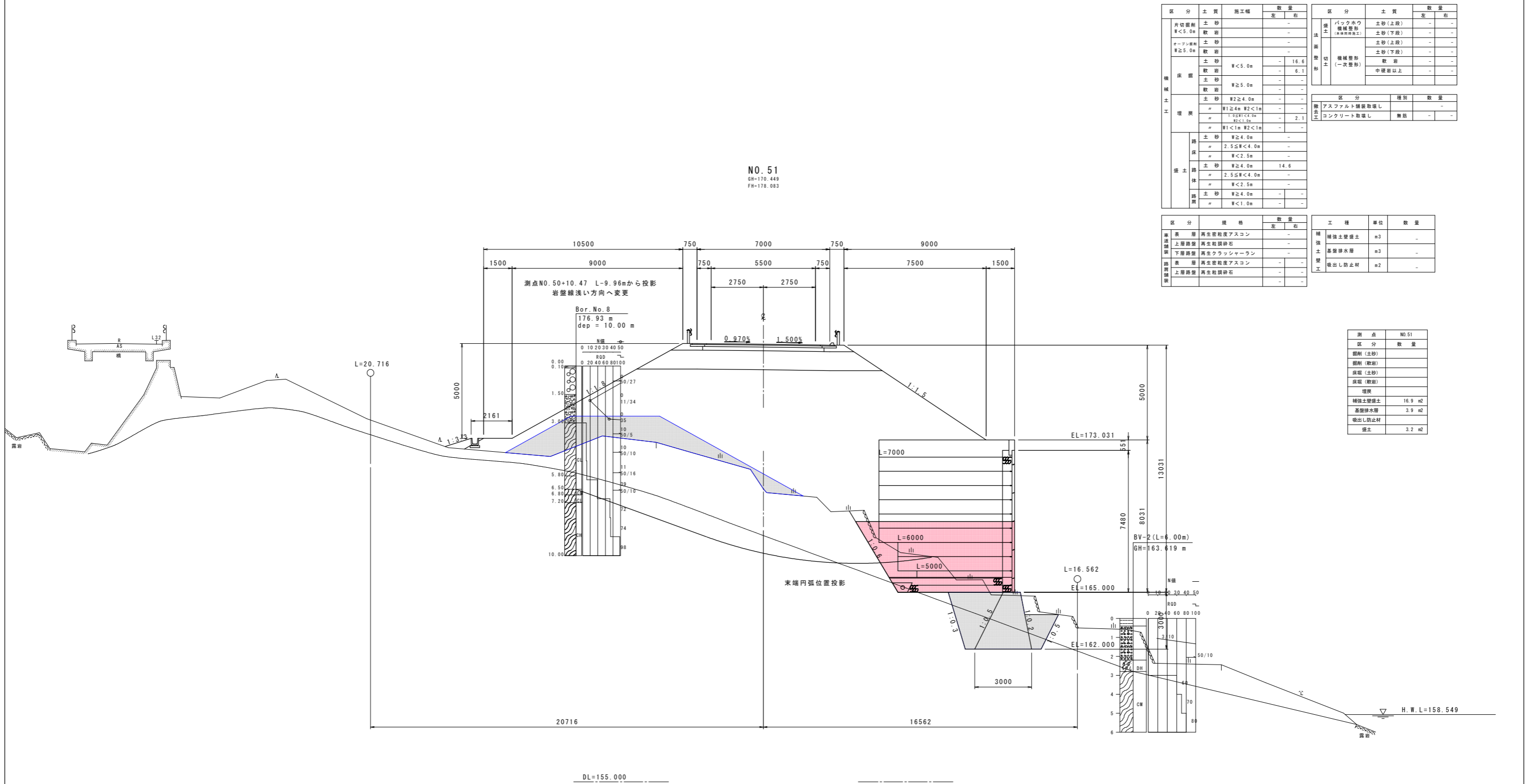
区分	規格	数量
機	再生密粒度アスコン	6.00
機	再生粗粒砕石	6.20
機	再生クラッシャーラン	6.40
機	再生密粒度アスコン	0.75
機	再生粗粒砕石	0.75

測点	NO. 50+10.000
区分	数量
掘削 (土砂)	
掘削 (敷)	
床層 (土砂)	
床層 (敷)	
埋戻	
補強土壁盛土	8.2 m ²
基礎排水層	2.8 m ²
吸出し防止材	2.8 m ²
盛土	1.1 m ²

注: 現況地盤線は、平面図よりペーロケで作成。

実施設計図面 NO. 50+10.000	
工事名	R2三土 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	横断図 (2)
縮尺	1:100 図面番号 5 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)

横断図 (3) S=1:100



区分	土質	施工種	数量		区分	土質	数量			
			左	右			左	右		
機械 土工	片切掘削 W<5.0m	土砂	-	-	法面 整形	バックホウ 機械整形 (400mm以上)	土砂(上段)	-	-	
	片切掘削 W<5.0m	軟岩	-	-		土砂(下段)	-	-		
	片切掘削 W<5.0m	土砂	-	-		土砂(上段)	-	-		
	片切掘削 W<5.0m	軟岩	-	-		土砂(下段)	-	-		
	埋戻	土砂	W<5.0m	-	16.6	整形 切土	機械整形 (一次整形)	軟岩	-	-
		軟岩	W<5.0m	-	6.1		中硬岩以上	-	-	
		土砂	W<5.0m	-	-					
		土砂	W<4.0m	-	-					
		軟岩	W<4.0m	-	-					
		軟岩	W<4.0m	-	-					
盛土	土砂	W<4.0m	-	-						
	軟岩	W<4.0m	-	-						
	土砂	W<2.5m	-	-						
	軟岩	W<2.5m	-	-						
路 床	土砂	W<4.0m	-	14.6						
	軟岩	W<4.0m	-	-						
	土砂	W<2.5m	-	-						
	軟岩	W<2.5m	-	-						
路 肩	土砂	W<4.0m	-	-						
	軟岩	W<4.0m	-	-						

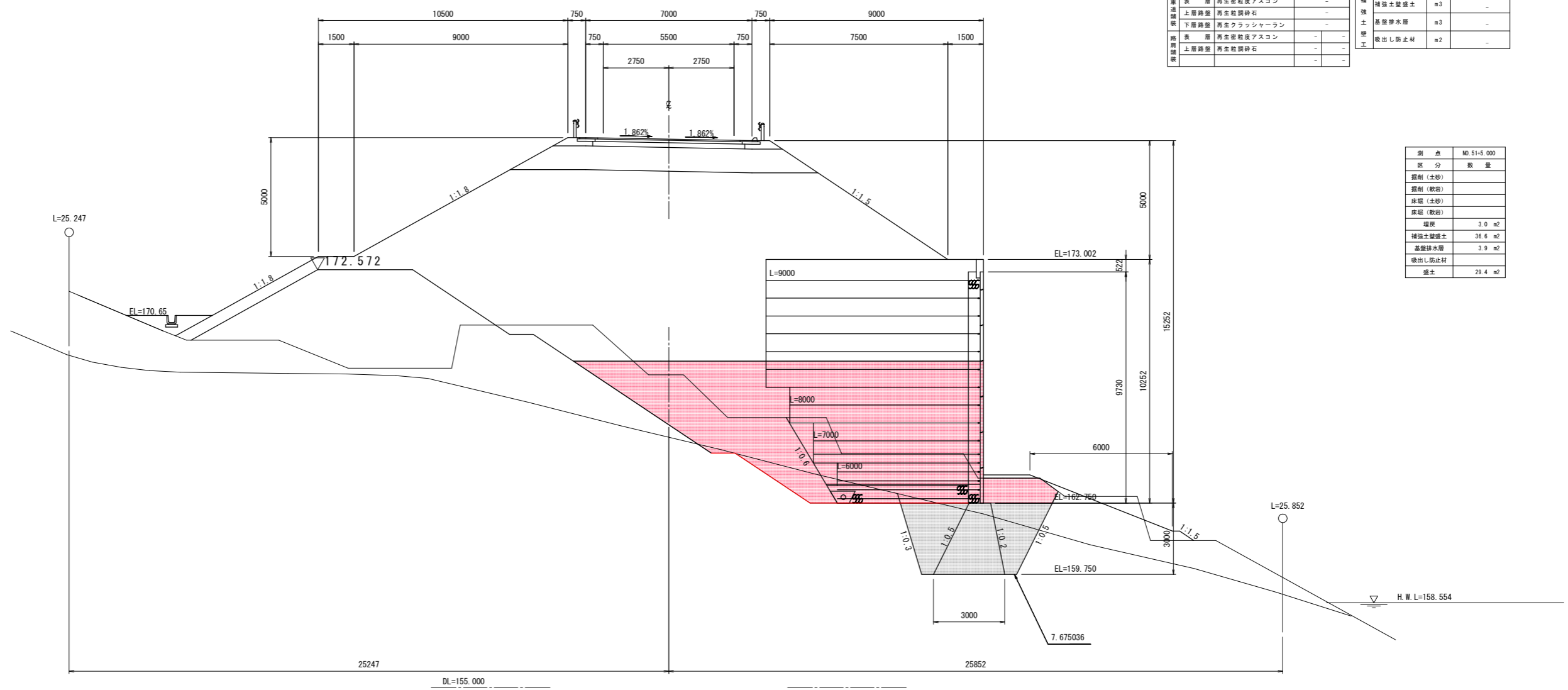
区分	規格	数量		工種	単位	数量	
		左	右				
路面 舗装	表層	再生粒径アスコン	-	補強 土工	補強土壁盛土	m3	-
	上層	再生粒径砕石	-		基礎排水層	m3	-
	下層	再生クラッシャーラン	-		吐出防止材	m2	-
路肩 舗装	表層	再生粒径アスコン	-				
	上層	再生粒径砕石	-				

測点	NO. 51
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	
床掘(軟岩)	
埋戻	
補強土壁盛土	16.9 m ²
基礎排水層	3.9 m ²
吐出防止材	
盛土	3.2 m ²

実施設計図面 NO. 51			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図(3)		
縮尺	1:100	図面番号	6 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)		

横断図 (4) S=1:100

NO. 51+5.000
 GH=168.150
 FH=178.067



区分	土質	施工種	数量	
			左	右
片切掘削 W<5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
マシニング W≥5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
機械 土工	土砂	W<5.0m	-	19.1
	軟岩		-	13.3
	土砂	W≥5.0m	-	-
	軟岩		-	-
埋戻	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W1≥4m W2<1m	-	-
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	4.7
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	-
盛土	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	2.5≤W<4.0m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
	土砂	W≥4.0m	44.1	-
路床	軟岩	2.5≤W<4.0m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
	土砂	W≥4.0m	-	-
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W<1.0m	-	-

区分	種類	数量
舗装工	アスファルト舗装取壊し	-
	コンクリート取壊し	-
土工	補強土壁盛土	m3
	基礎排水層	m3
	吸出し防止材	m2
	盛土	-

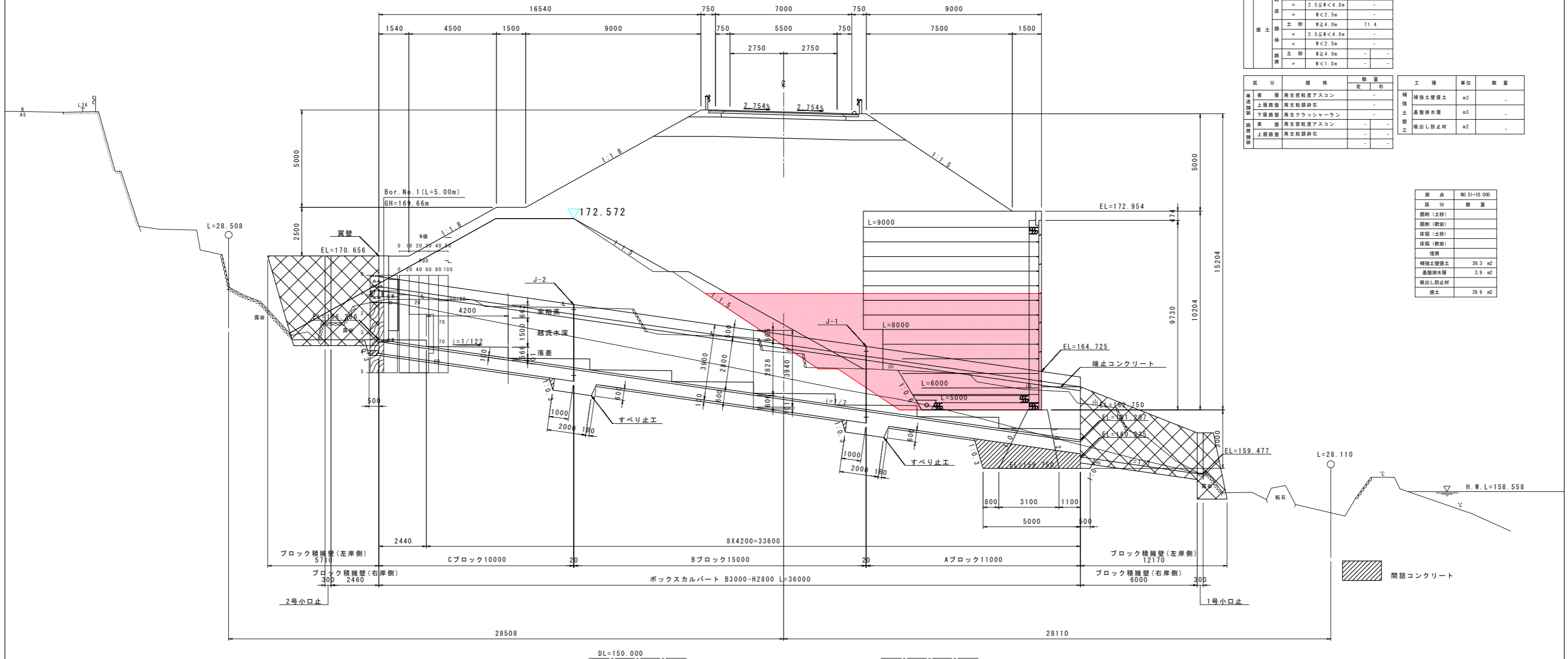
測点	NO. 51+5.000
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	
床掘(軟岩)	
埋戻	3.0 m2
補強土壁盛土	36.6 m2
基礎排水層	3.9 m2
吸出し防止材	
盛土	29.4 m2

注：現況地盤線は、平面図よりベローケで作成。

実施設計図面 NO. 51+5.000			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図 (4)		
縮尺	1:100	図面番号	7 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

横断図 (5) S=1:100

NO.51+10.000
GH=165.702
FH=178.050



区分	土質	施工幅	数量		区分	土質	数量	
			左	右			左	右
片切掘削 厚<5.0m	土砂		-	-	バックホウ 機械整地 (#800専用機)	土砂(上段)	-	-
	軟岩		-	-		土砂(下段)	-	-
	土砂		-	-		土砂(上段)	-	-
	軟岩		-	-		土砂(下段)	-	-
オープン掘削 厚≥5.0m	土砂		-	-	機械整地 (一次整地)	軟岩	-	-
	軟岩		-	-		中硬岩以上	-	-
	土砂	厚<5.0m	-	-				
	軟岩	厚≥5.0m	-	-				
機械整地	土砂	厚≥4.0m	-	-	区分			
	軟岩	厚≥4m 厚2<1m	-	-	区分	種類	数量	
	土砂	厚1<1m 厚2<1m	-	-	アスファルト舗装取壊し		-	
	軟岩	厚1<1m 厚2<1m	-	-	コンクリート取壊し	無筋	-	
埋戻	土砂	厚≥4.0m	-	-				
	軟岩	厚1<1m 厚2<1m	-	-				
	土砂	厚2.5<厚<4.0m	-	-				
	軟岩	厚<2.5m	-	-				
盛土工	土砂	厚≥4.0m	-	-				
	軟岩	厚2.5<厚<4.0m	-	-				
	土砂	厚<2.5m	71.4	-				
	軟岩	厚<2.5m	-	-				
路床	土砂	厚≥4.0m	-	-				
	軟岩	厚2.5<厚<4.0m	-	-				
	土砂	厚<2.5m	-	-				
	軟岩	厚<2.5m	-	-				
路体	土砂	厚≥4.0m	-	-				
	軟岩	厚2.5<厚<4.0m	-	-				
	土砂	厚<2.5m	-	-				
	軟岩	厚<2.5m	-	-				
路肩	土砂	厚≥4.0m	-	-				
	軟岩	厚2.5<厚<4.0m	-	-				
	土砂	厚<2.5m	-	-				
	軟岩	厚<2.5m	-	-				

区分	規格	数量	工種	単位	数量
表層	再生密粒度アスコン	-	舗装	種強土壁盛土	m3
上層路盤	再生粒状砂石	-	土壁	基礎排水層	m3
下層路盤	再生クラッシャーラン	-	盛土	吸出し防止材	m2
表層	再生密粒度アスコン	-			
上層路盤	再生粒状砂石	-			
下層路盤	再生粒状砂石	-			

測点	NO.51+10.000
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	
床掘(軟岩)	
埋戻	
種強土壁盛土	39.3 m2
基礎排水層	3.9 m2
吸出し防止材	
盛土	29.6 m2

実施設計図面 NO.51+10.000

工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	横断図(5)
縮尺	1:100
図面番号	8 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)

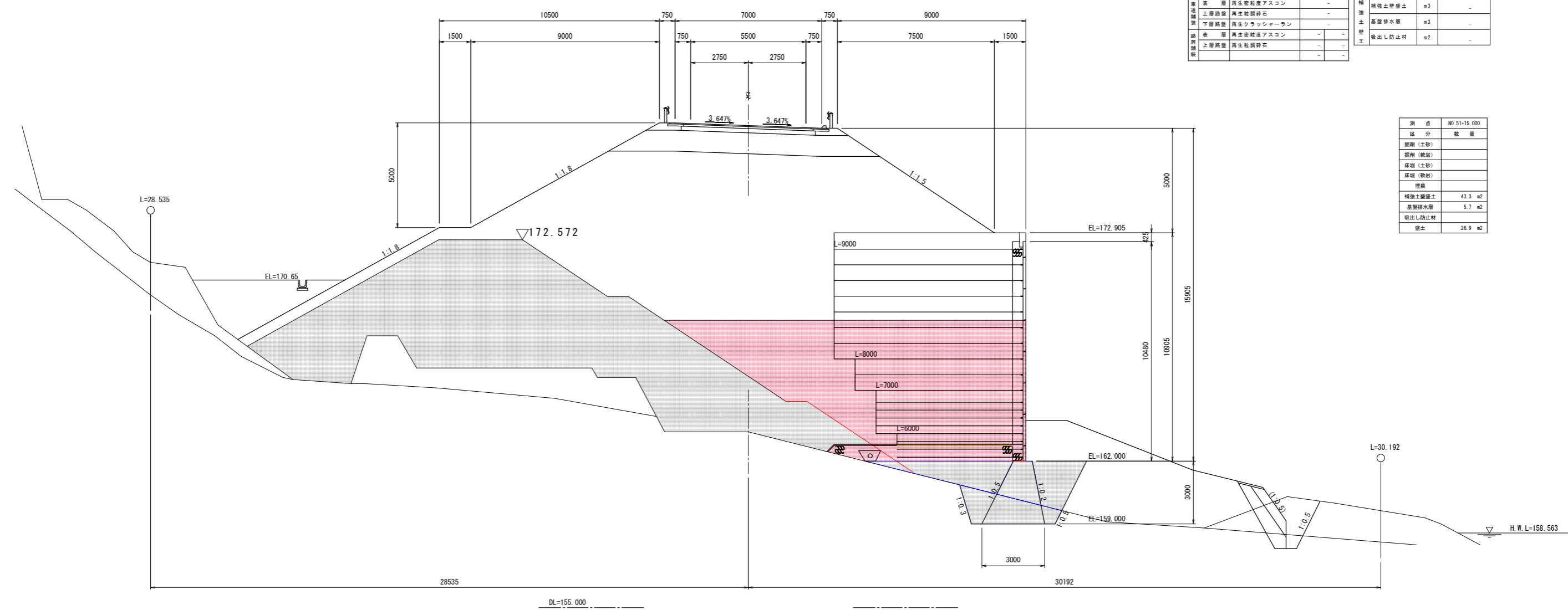
横断図 (6) S=1:100

NO. 51+15.000
 GH=163.400
 FH=178.033

区分	土質	施工種	数量	
			左	右
片切掘削 W<5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
ロープ掘削 W≥5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
床掘	土砂	W<5.0m	-	-
	軟岩	W<5.0m	-	-
	土砂	W≥5.0m	-	-
	軟岩	W≥5.0m	-	-
埋戻	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
	土砂	W1≥4m W2<1m	-	-
	軟岩	W1≥4m W2<1m	-	-
盛土	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
	土砂	W<2.5m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
路側	土砂	W≥4.0m	74.2	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
路肩	土砂	W<2.5m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-

区分	種別	数量
舗装工	アスファルト舗装取壊し	-
	コンクリート取壊し	-
補強土壁工	補強土壁盛土	m3
	基礎排水層	m3
	段出し防止材	m2

測点	NO. 51+15.000
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	
床掘(軟岩)	
埋戻	
補強土壁盛土	43.3 m2
基礎排水層	5.7 m2
段出し防止材	
盛土	26.9 m2

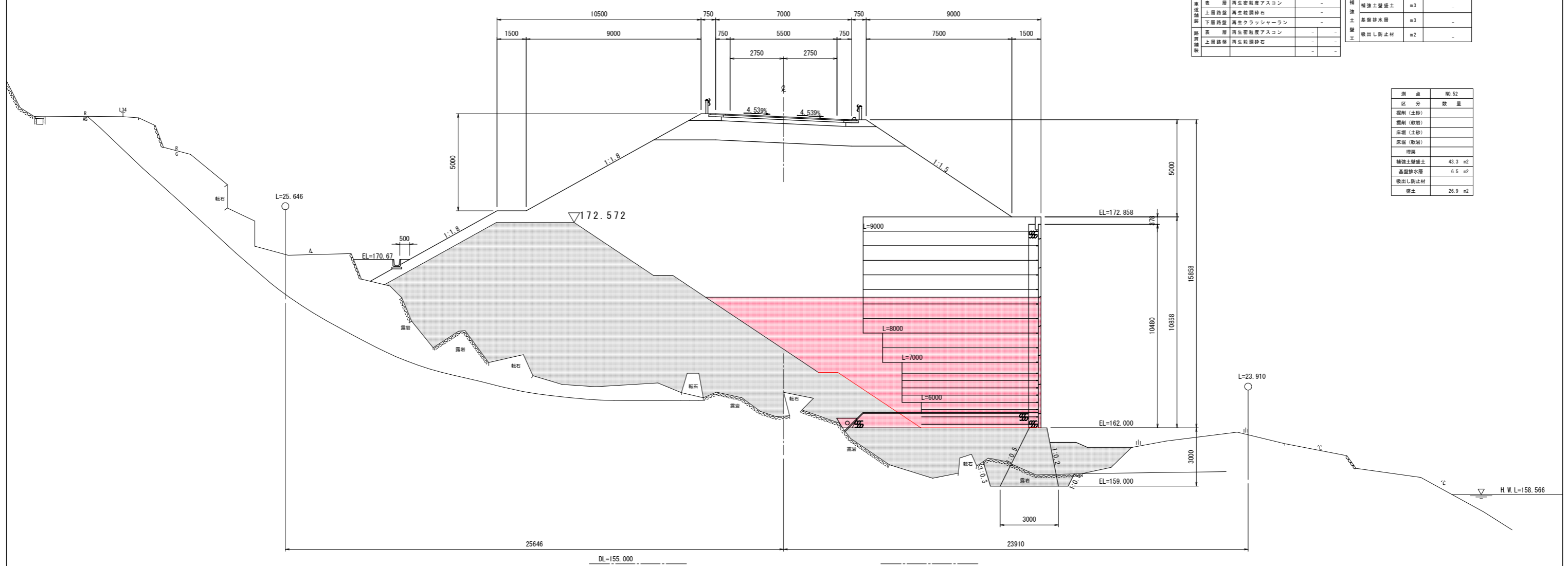


注：現況地盤線は、平面図よりベローケで作成。

実施設計図面 NO. 51+15.000			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図 (6)		
縮尺	1:100	図面番号	9 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

横断面図 (7) S=1:100

NO. 52
QH-163.832
FH-178.017



区分	土質	施工種	数量	
			左	右
片切掘削 W<5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
ロープ切掘削 W≥5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
床掘	土砂	W<5.0m	-	-
	軟岩		-	3.9
	土砂	W≥5.0m	-	-
	軟岩		-	-
埋戻	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W1≥4m W2<1m	-	-
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	-
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	0.4
盛土	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	2.5≤W<4.0m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
	土砂	W≥4.0m	77.4	-
路床	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	2.5≤W<4.0m	-	-
路体	土砂	W<2.5m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W<1.0m	-	-

区分	土質	数量		
		左	右	
擁土	バックホウ機械整形(中硬岩以上)	土砂(上段)	-	-
		土砂(下段)	-	-
		土砂(上段)	-	-
整形	機械整形(一次整形)	軟岩	-	-
		中硬岩以上	-	-

区分	種別	数量
擁土	アスファルト舗装取壊し	-
擁土	コンクリート取壊し	-

区分	規格	数量	
		左	右
表層	再生密粒質アスコン	-	-
	再生粒状砕石	-	-
	再生クラッシャーラン	-	-
基層	再生密粒質アスコン	-	-
	再生粒状砕石	-	-
	再生クラッシャーラン	-	-

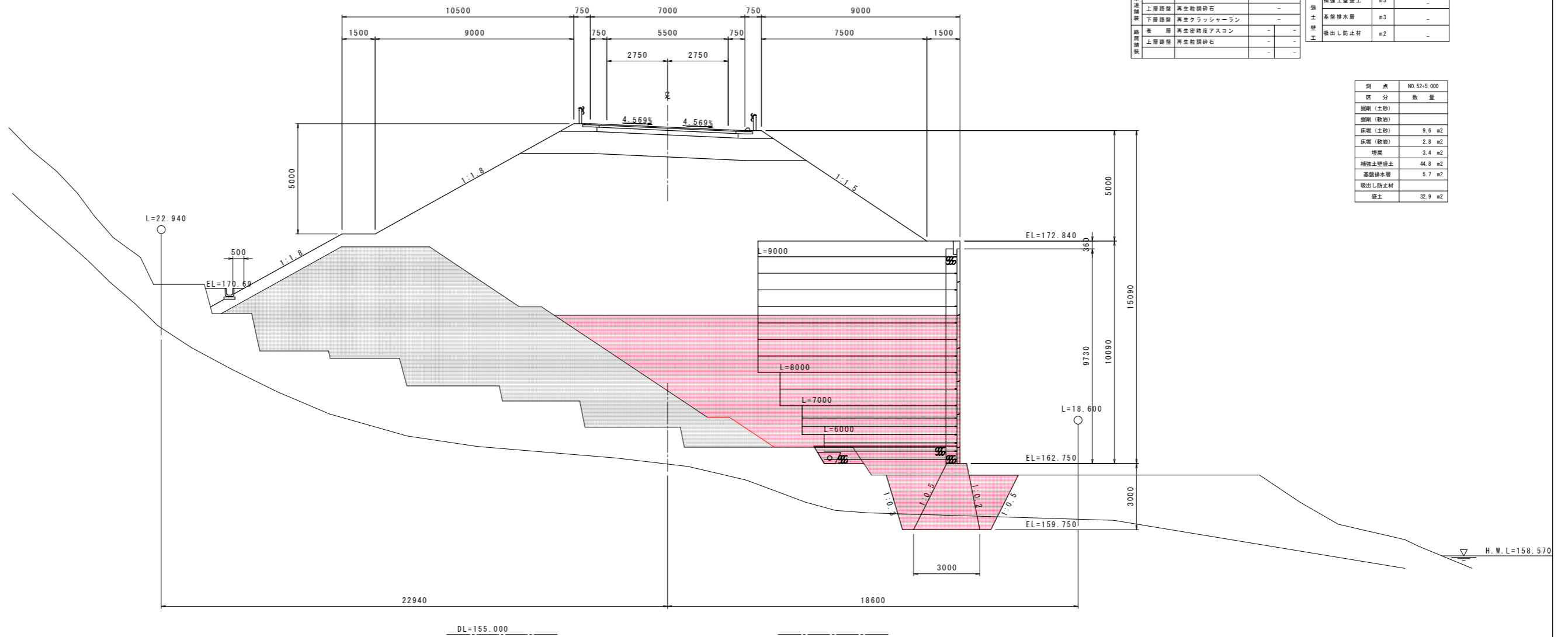
工種	単位	数量
擁土	種強土壁盛土	m3
擁土	基礎排水層	m3
擁土	撥出し防止材	m2

測点	NO. 52
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	
床掘(軟岩)	
埋戻	
擁土	43.3 m2
基礎排水層	6.5 m2
撥出し防止材	
盛土	26.9 m2

実施設計図面 NO. 52			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断面図 (7)		
縮尺	1:100	図面番号	10 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

横断図 (8) S=1:100

NO. 52+5.000
 GH=164.400
 FH=178.000



区分	土質	施工種	数量		区分	土質	数量	
			左	右			左	右
機械整形 土	片切層	土砂	-	-	機械整形 土	バックホウ 機械整形 (4.5m以上)	-	-
	敷	砂	-	-		土砂(下段)	-	-
	敷	砂	-	-		土砂(上段)	-	-
	敷	砂	-	-		土砂(下段)	-	-
埋戻	土砂	W<5.0m	-	9.6	埋戻	機械整形 (一次整形)	-	-
	敷	砂	-	2.8		敷	-	-
	敷	砂	-	-		中硬岩以上	-	-
	敷	砂	-	-				
盛土	土砂	W≥4.0m	-	-	区分			
	敷	砂	W1≥4m W2<1m	-				
	敷	砂	1.5W1<4.0m W2<1.0m	-	3.4	種類	数量	
	敷	砂	W1<1m W2<1m	-	-			
路面	土砂	W≥4.0m	-	-	舗装工	種類	数量	
	敷	砂	2.5≤W<4.0m	-				
	敷	砂	W<2.5m	-				
	敷	砂	W≥4.0m	87.8				
路側	土砂	W≥4.0m	-	-	舗装工	種類	数量	
	敷	砂	2.5≤W<4.0m	-				
	敷	砂	W<2.5m	-				
	敷	砂	W≥4.0m	-				
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-	舗装工	種類	数量	
	敷	砂	2.5≤W<4.0m	-				
	敷	砂	W<2.5m	-				
	敷	砂	W<1.0m	-				

区分	規格	数量	工種	単位	数量
表層	再生粒径アスコン	-	補強土壁盛土	m3	-
上層	再生粒径砕石	-	基礎排水層	m3	-
下層	再生クラッシャー	-	吸出し防止材	m2	-
表層	再生粒径アスコン	-			
上層	再生粒径砕石	-			

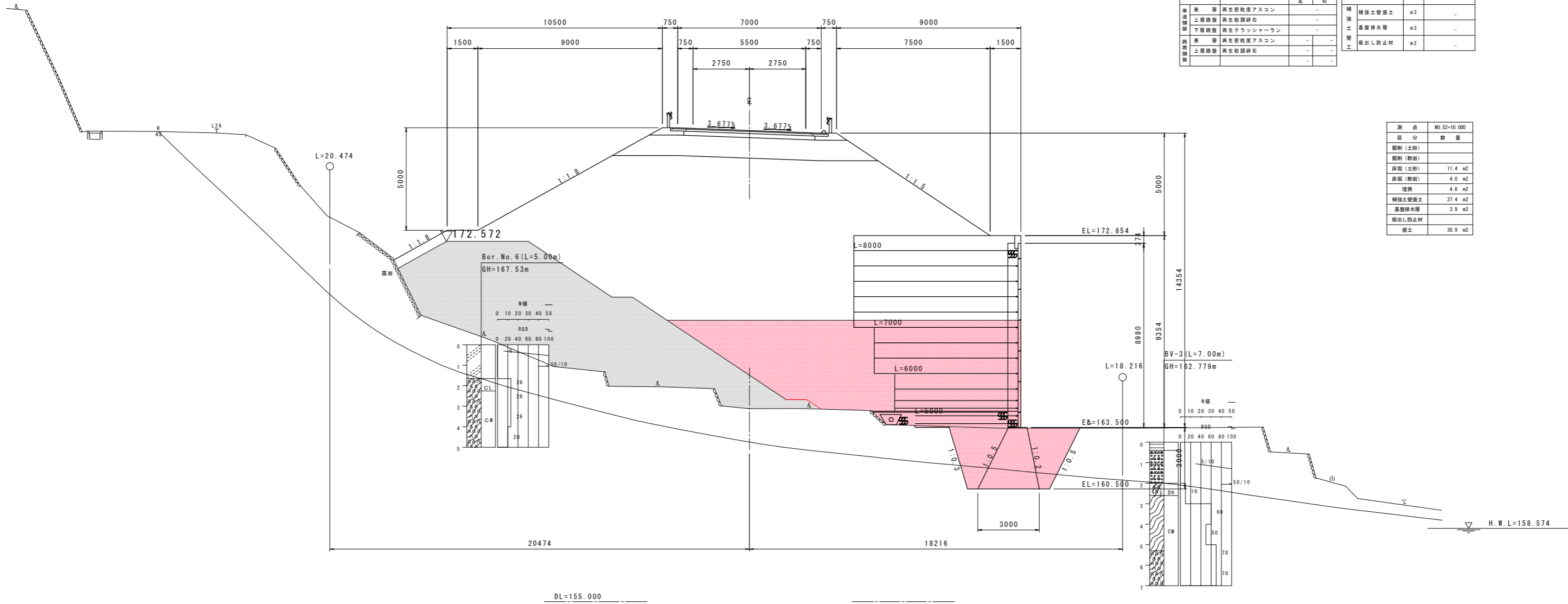
測点	NO. 52+5.000
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床層(土砂)	9.6 m2
床層(軟岩)	2.8 m2
埋戻	3.4 m2
補強土壁盛土	44.8 m2
基礎排水層	5.7 m2
吸出し防止材	
盛土	32.9 m2

注：現況地盤線は、平面図よりペーロケで作成。

実施設計図面 NO. 52+5.000	
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	横断図(8)
縮尺	1:100 図面番号 11 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)

横断図 (9) S=1:100

NO. 52+10.000
 GH=164.415
 FH=177.983



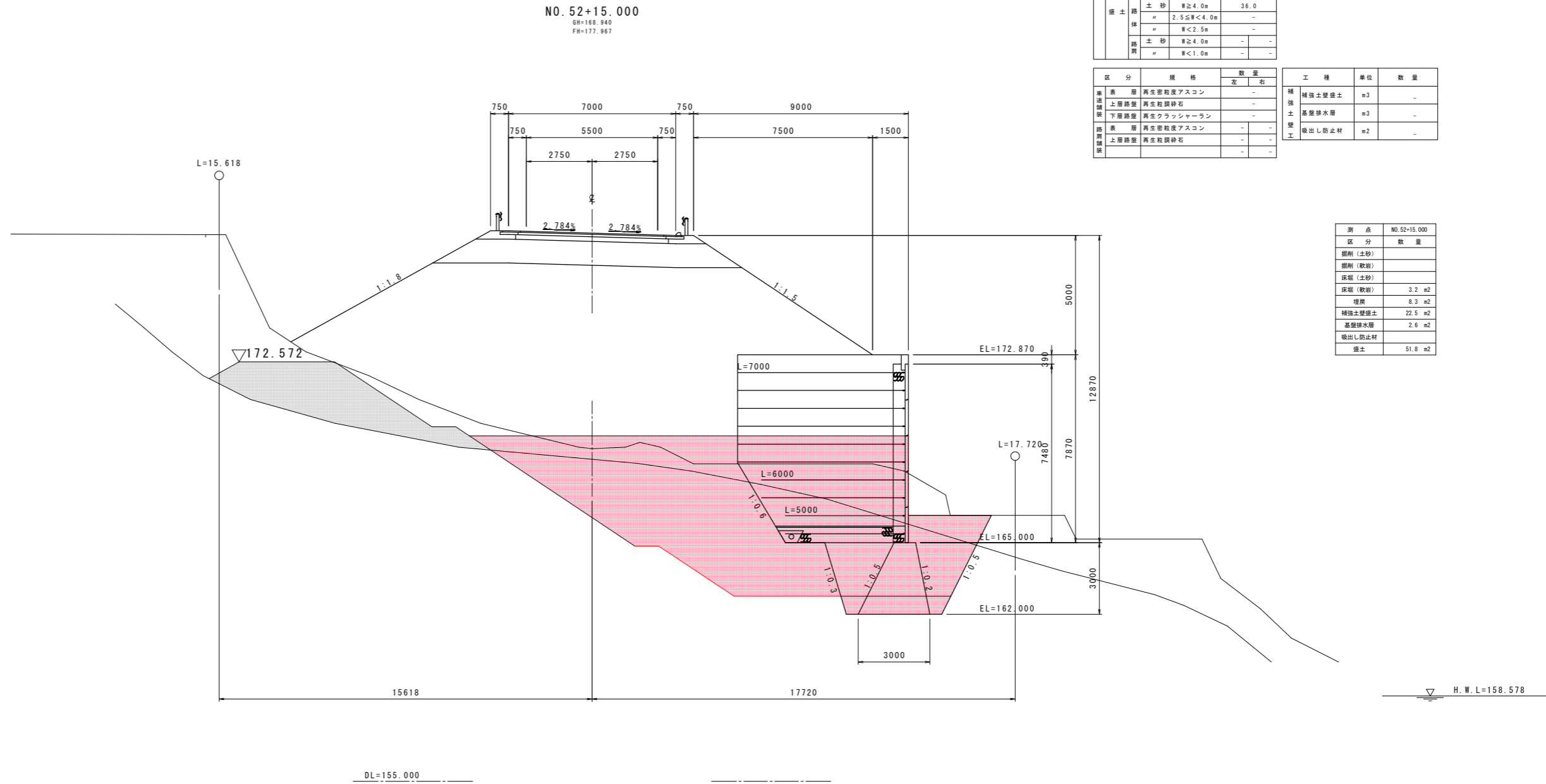
区分	土質	施工種	数量		区分	土質	数量			
			左	右			左	右		
機械 土工	片切掘削 W<5.0m	土砂	-	-	路面 整形	バックホウ 機械整形 (中硬岩以上)	土砂(上段)	-	-	
	片切掘削 W<5.0m	軟岩	-	-		土砂(下段)	-	-		
	片切掘削 W<5.0m	土砂	-	-		土砂(上段)	-	-		
	片切掘削 W<5.0m	軟岩	-	-		土砂(下段)	-	-		
	埋戻	土砂	W<5.0m	-	11.4	敷土工	機械整形 (一次整形)	軟岩	-	-
		土砂	W<4.0m	-	4.0		中硬岩以上	-	-	
		土砂	W<5.0m	-	-		区分	種別	数量	
		土砂	W<4.0m	-	-		アスファルト舗装取壊し	-	-	
		土砂	W1<4m W2<1m	-	-		コンクリート取壊し	無筋	-	
		土砂	W1<1m W2<1m	-	-					
路床	土砂	W<4.0m	-	-						
	土砂	2.5<W<4.0m	-	-						
	土砂	W<2.5m	-	-						
	土砂	W<4.0m	78.1	-						
盛土	土砂	2.5<W<4.0m	-	-						
	土砂	W<2.5m	-	-						
	土砂	W<4.0m	-	-						
路肩	土砂	W<1.0m	-	-						

区分	規格	数量	工種	単位	数量
表層	再生砕粒アスコン	-	補強土壁盛土	m3	-
上層路盤	再生砕粒砕石	-	基礎排水層	m3	-
下層路盤	再生クラッシャーラン	-	吸出し防止材	m2	-
表層	再生砕粒アスコン	-			
上層路盤	再生砕粒砕石	-			

測点	NO. 52+10.000
区分	数量
掘削(土砂)	
掘削(軟岩)	
床掘(土砂)	11.4 m2
床掘(軟岩)	4.0 m2
埋戻	4.6 m2
補強土壁盛土	27.4 m2
基礎排水層	3.9 m2
吸出し防止材	
盛土	30.9 m2

実施設計図面 NO. 52+10.000	
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	横断図(9)
縮尺	1:100 図面番号 12 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)

横断図 (10) S=1:100



区分	土質	施工幅	数量	
			左	右
機械整形 W<5.0m	土砂		-	-
	軟岩		-	-
	土砂		-	-
	軟岩		-	-
機械整形 W≥5.0m	土砂	W<5.0m	-	15.2
	軟岩	W<5.0m	-	26.2
	土砂	W≥5.0m	-	-
	軟岩	W≥5.0m	-	-
埋戻	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W1≥4m W2<1m	-	-
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	4.7
	軟岩	W1<1m W2<1m	-	-
盛土	土砂	W≥4.0m	-	36.0
	軟岩	2.5≤W<4.0m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
	軟岩	W<2.5m	-	-
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W<1.0m	-	-

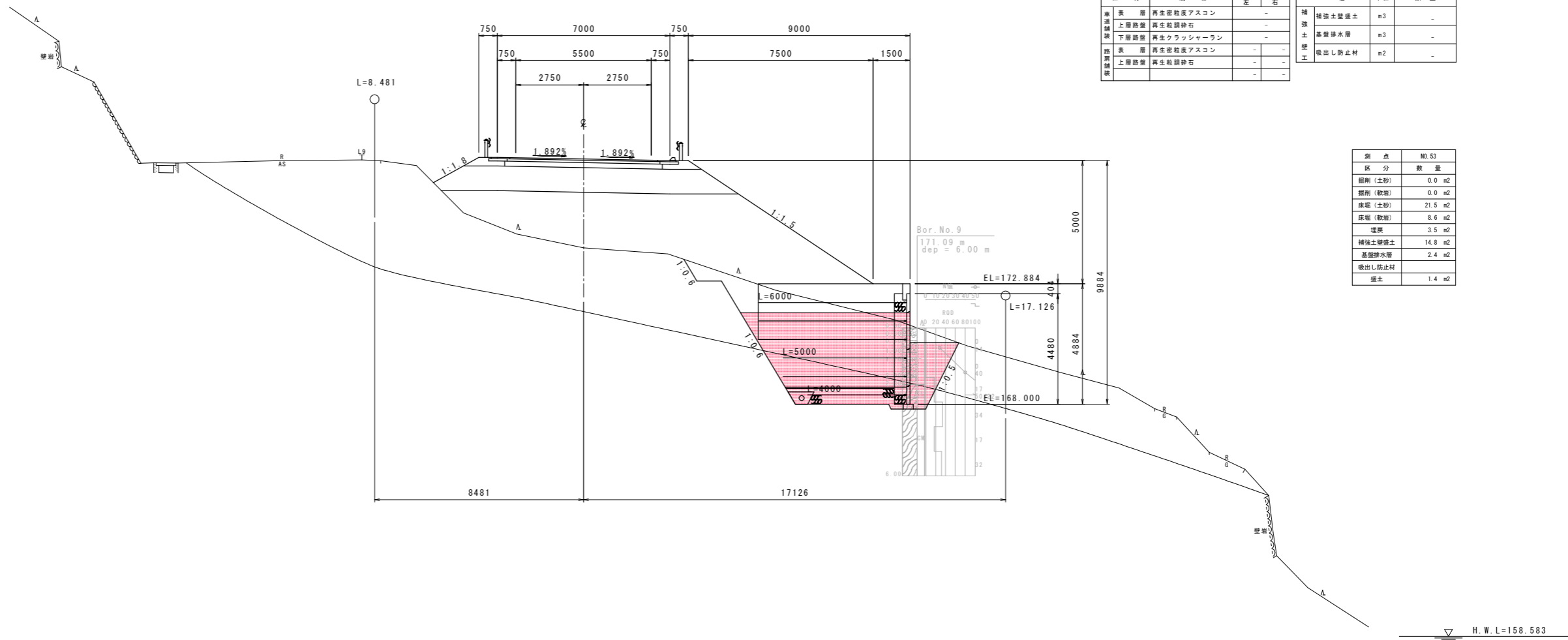
区分	規格	数量
表層	再生砕戻アスコン	-
上層路盤	再生砕戻砕石	-
下層路盤	再生クラッシャーラン	-
表層	再生砕戻アスコン	-
上層路盤	再生砕戻砕石	-

測点	NO. 52+15.000
区分	数量
掘削 (土砂)	
掘削 (軟岩)	
床掘 (土砂)	
床掘 (軟岩)	3.2 m2
埋戻	8.3 m2
補強土壁盛土	22.5 m2
基盤排水層	2.6 m2
吸出し防止材	
盛土	51.8 m2

注：現況地盤線は、平面図よりペーロケで作成。

実施設計図面 NO. 52+15.000			
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図 (10)		
縮尺	1:100	図面番号	13 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

横断図 (11) S=1:100



NO. 53
BR=174.343
FR=177.950

区分	土質	施工幅	数量	
			左	右
機械 土工	片切掘削 W<5.0m	土砂	-	-
		軟岩	-	-
	マシニング W≥5.0m	土砂	-	-
		軟岩	-	-
埋戻	土砂	W<5.0m	21.5	-
	軟岩	W<5.0m	8.6	-
	土砂	W≥5.0m	-	-
	軟岩	W≥5.0m	-	-
盛土	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
	土砂	W<4.0m	-	-
	軟岩	W<4.0m	-	-
路床	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
	土砂	W<4.0m	-	-
	軟岩	W<4.0m	-	-
路体	土砂	W≥4.0m	10.4	-
	軟岩	W≥4.0m	-	-
	土砂	W<4.0m	-	-
	軟岩	W<4.0m	-	-
路肩	土砂	W≥4.0m	-	-
	軟岩	W<1.0m	-	-

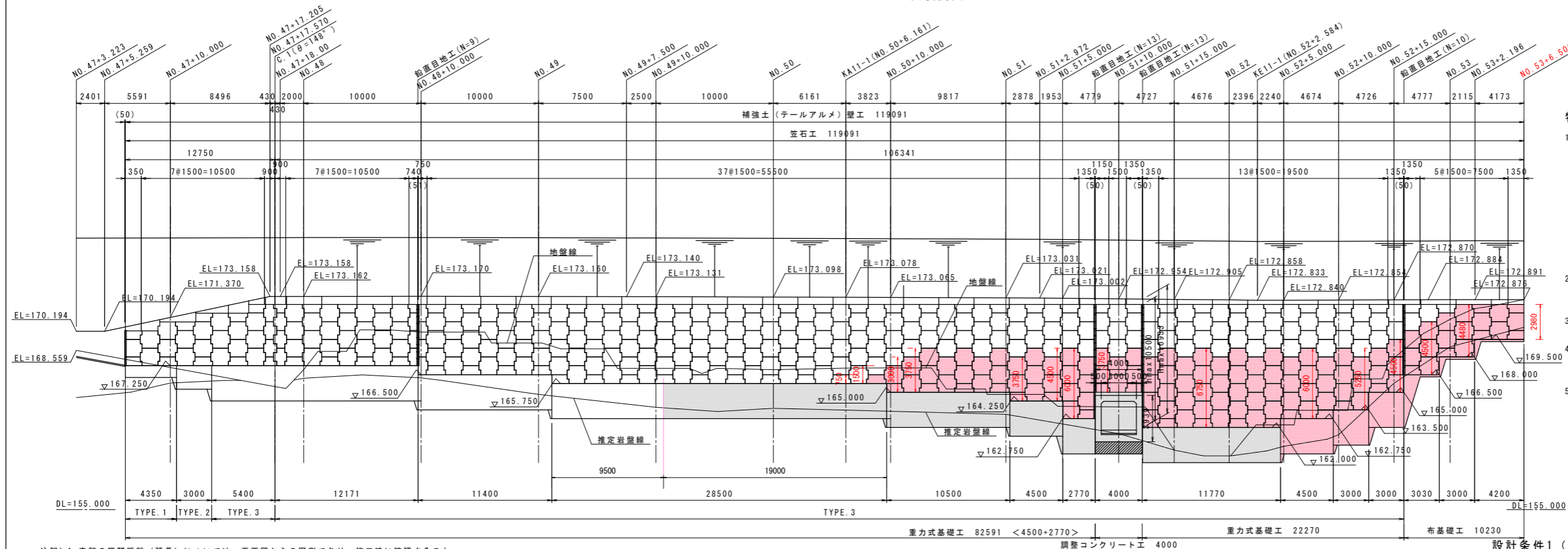
区分	種別	数量
舗装工	アスファルト舗装取壊し	-
	コンクリート取壊し	-
補強 土工	補強土壁盛土	m3
	基層排水層	m3
	吸出し防止材	m2

測点	NO.53
区分	数量
掘削(土砂)	0.0 m2
掘削(軟岩)	0.0 m2
床掘(土砂)	21.5 m2
床掘(軟岩)	8.6 m2
埋戻	3.5 m2
補強土壁盛土	14.8 m2
基層排水層	2.4 m2
吸出し防止材	-
盛土	1.4 m2

実施設計図面 NO. 53			
工事名	R2三土 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	横断図(11)		
縮尺	1:100	図面番号	14 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)		

補強土壁工 一般図

正面展開図 S=1:200

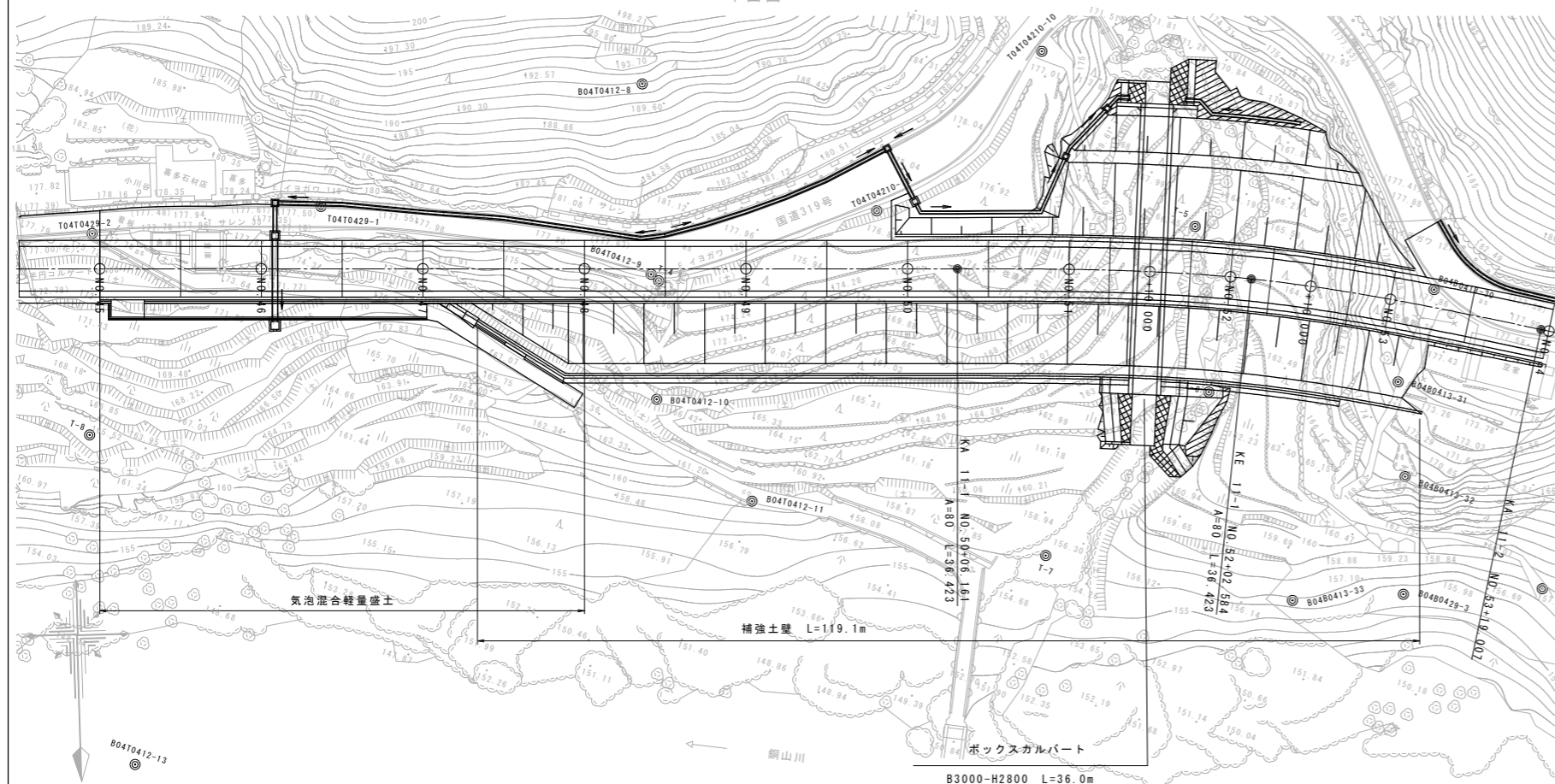


- 注記) 1. 表記の区間距離(延長)については、平面図からの図測であり、施工時に確認すること。
 2. 表記の展開図については、施工時に確認し、根入れ等の不足がないか照査すること。
 3. 表記の地盤改良計画については、想定した地層設置に基づいたものであり、施工時に原地盤状況を把握し、再確認すること。

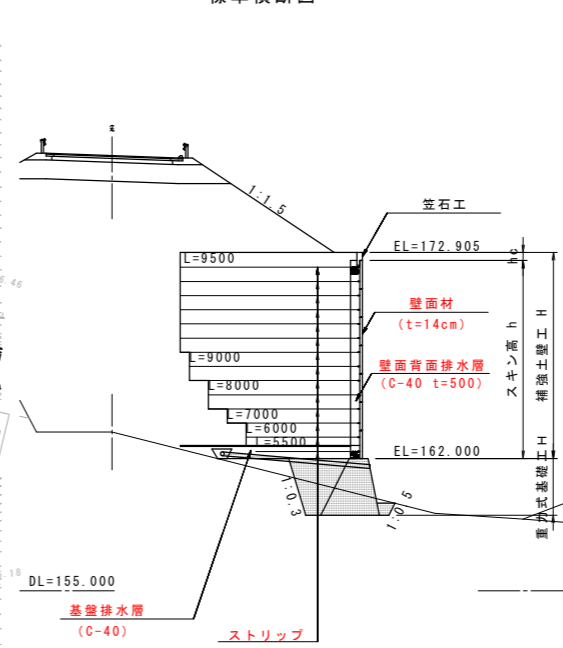
特記

- 盛土材料は、次に示す〔A1〕もしくは〔A2〕材料を使用することを原則とする。
 〔A1〕 細粒分(土粒子の粒径が75 μ m以下のもの)の含有量が25%以下の土質材料。
 〔A2〕 250mmを超える大粒径のものを含まない硬岩ずりで75mmふるい通過分中の細粒分の含有量が25%以下、かつ、大小粒が適度に混合して締固めのし易いもの。但し、スレーキングする可能性のある材料(泥岩、頁岩、凝灰岩、片岩、等)を使用する場合は、専門技術者の判断によるものとする。
- 表中の最大地盤反力度は設計区間の最大値を示すものであり、施工時に基礎地盤の地耐力が設計値以上であるかの確認を行うこと。
- 現地地盤及び掘削面に湧水(被圧地下水等)が確認できる場合については、別途対策を検討すること。
- 施工時には、土質試験を行い盛土材料が設計条件を満足出来ることを確認すること。
尚、設計条件を満足出来ない場合は、追加検討すること。
- 施工時に原地盤状況(地層分布、土質定数等)を確認し、想定外の地層分布を示す場合については、盛土全体における外的安定性(円弧すべり、沈下)について再照査を行うこと。

平面図 S=1:400



標準横断面 S=1:200



設計条件1 (形状・応力等)

設計壁高	Hmax=10.94m (h=10.50m)	
盛土材	土砂	内的・外的安定検討時 $\gamma=19\text{kN/m}^3, \phi=30^\circ, C=0\text{kN/m}^2$
土質条件	砂質土	全体安定検討時 ※1 $\gamma=19\text{kN/m}^3, \phi=30^\circ, C=10\text{kN/m}^2$
地震動の影響	重要度区分	重要度2
	地震動の作用	レベル1地震動 (1種地盤)
	地域別補正係数Gz	0.85 (地域区分: B)
設計水平震度	内的安定検討	kh=0.10
	外的安定検討	kh=0.07 (補正係数 $\nu=0.7$)
	全体安定検討 (円弧すべり)	kh=0.10
盛土材と補強材の摩擦係数	$f'=1.5 \sim \tan 36^\circ$	
コンクリートスキンの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上	
安全率及び許容応力度	常時	地震時
補強材の引抜きに対する安全率	2.0	1.2
補強材の引張応力度 (SS400)	140N/mm ²	210N/mm ²
ボルトのせん断応力度	200N/mm ²	300N/mm ²
適用指針	補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル第4回改訂版	

※1: 補強土(テールアルメ)壁 マニュアル 4.3土・地盤の設計諸定数より

設計条件2 (外的安定計算)

基礎地盤の性質	$\gamma=20\text{kN/m}^3, \phi=35^\circ, c=100\text{kN/m}^2$	
布基礎工	盛土直下	201kN/m ²
最大地盤反力度	壁面直下	159kN/m ²
重力式基礎工	盛土直下	362kN/m ²
最大地盤反力度	壁面直下	574kN/m ²

設計条件2 (外的安定計算)

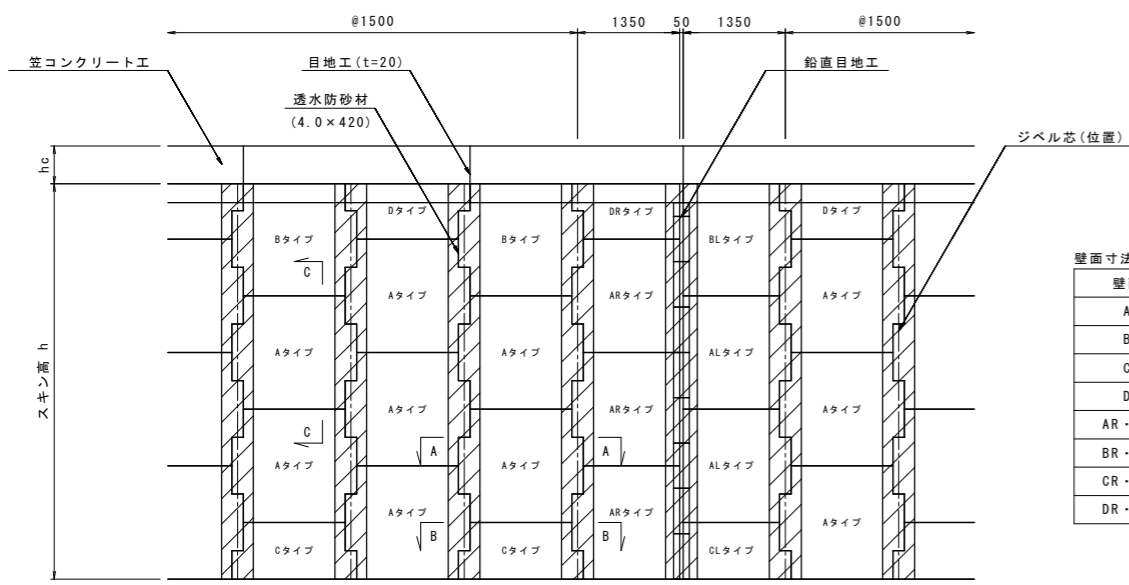
安全率	すべり破壊に対する	常時	1.20	地震時	1.00
	滑動に対する	常時	1.50	地震時	1.20
	転倒に対する	L/6		L/3	
	支持力に対する	3.00		2.00	

実施設計図面

工事名	R2三士 国道319号 道路改良工事		
路線名等	三・山城小川谷 一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	補強土壁工 一般図		
縮尺	図示	図面番号	15 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

補強土壁工 詳細図 (1)

組立一般正面図 S=1:50

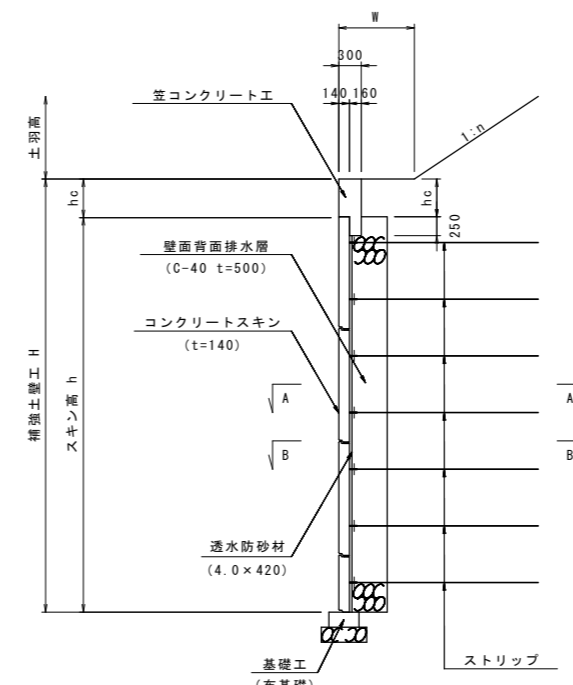


壁面寸法表 (標準壁面材) 単位: mm

壁面タイプ	寸法
Aタイプ	1500×1500
Bタイプ	1500×1480
Cタイプ	1500×750
Dタイプ	1500×730
AR・ALタイプ	1350×1500
BR・BLタイプ	1350×1480
CR・CLタイプ	1350×750
DR・DLタイプ	1350×730

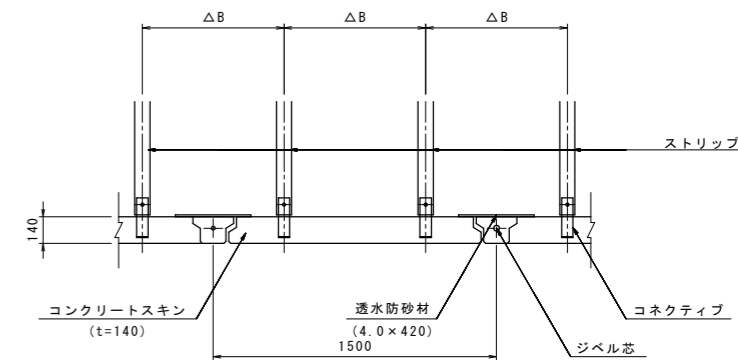
注記 1. 展開図の壁面材記号については、上表並びに以下を参照とする。
 L、Rは袖なしスキンを示し、Lは左袖なし、Rは右袖なしスキンとする。
 Mはコーナースキンを示す。
 Eは異形スキンを示す。
 Pは差し筋(D13)付を示す。
 Kタイプ壁面材は、目地用スキンを示す。
 Oタイプ壁面材は、孔開きスキンを示す。
 2. 各目地位置については展開図を参照とする。

組立一般断面図 S=1:50



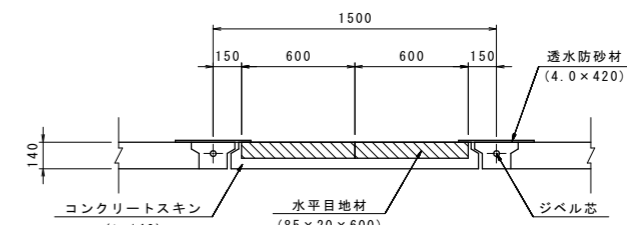
注記 1. Wは法尻小段幅を示す。
 2. nは盛土勾配を示す。

A-A断面 S=1:20



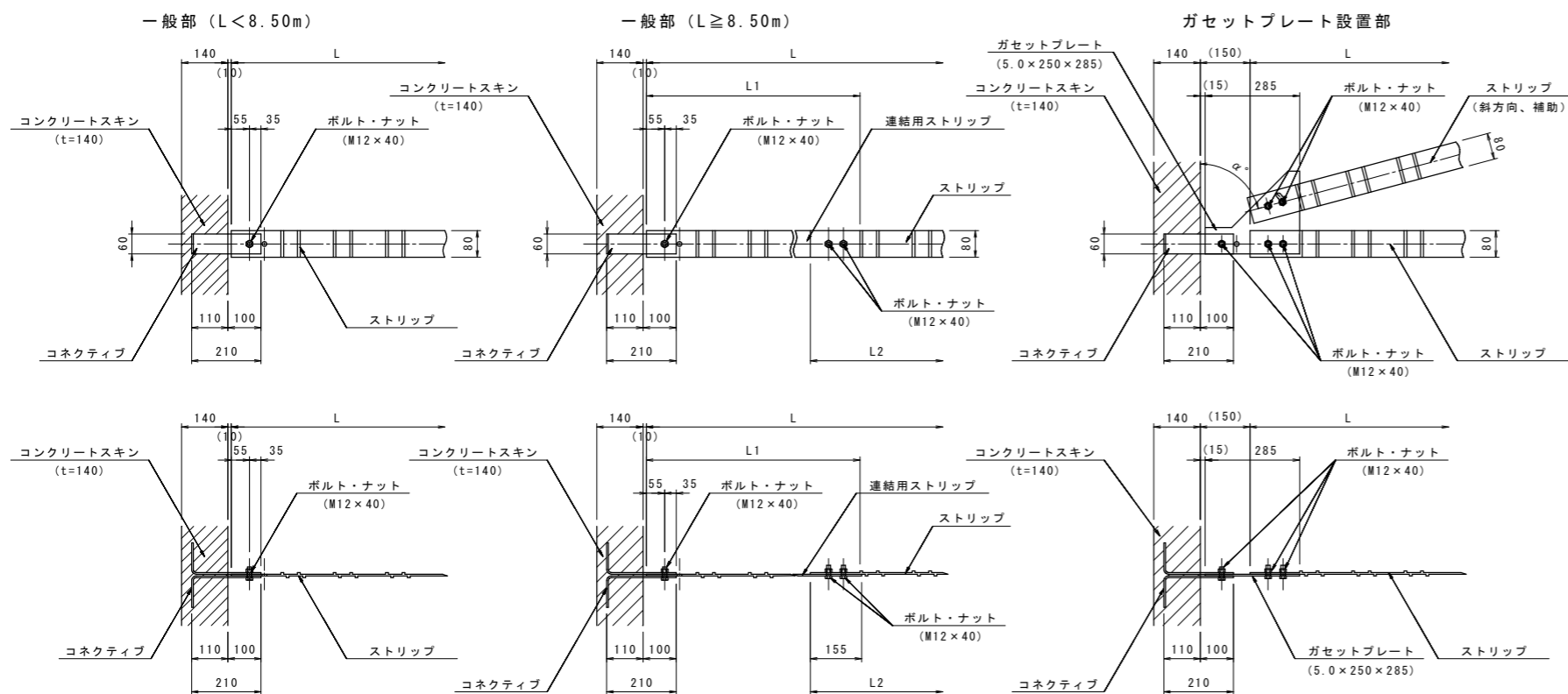
注記 1. ΔBはストリップの水平間隔を示す。

B-B断面 S=1:20



注記 1. 水平目地材は、目地1箇所当たり2枚を標準とし、隙間なく突き合わせて背面側の中央部に設置すること。
 2. 異形スキンの水平目地材は、L≤750mmの場合1枚とする。
 3. 目地用スキンの水平目地材は、1枚とする。

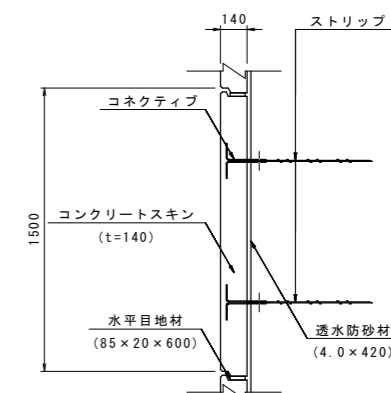
補強材取付詳細図 S=1:10



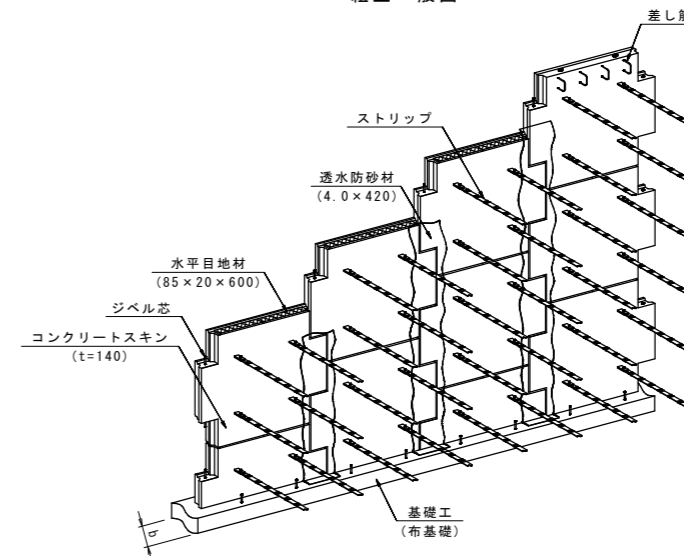
注記 1. L<10.50mとなる場合は、連結用ストリップ(L1=6.16m)+L2の組合せとする。
 L≥10.50mとなる場合は、連結用ストリップ(L1=8.16m)+L2の組合せとする。

注記 1. 長さによるストリップの組み合わせ等については、一般部と同様とする。

C-C断面 S=1:20



組立一般図 S=Free



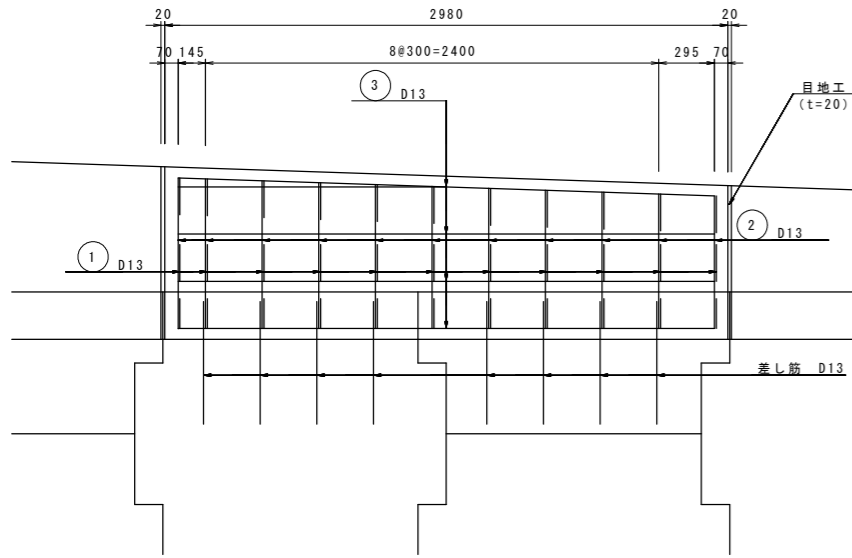
実施設計図面

工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	補強土壁工 詳細図 (1)
縮尺	図示 図面番号 16 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)

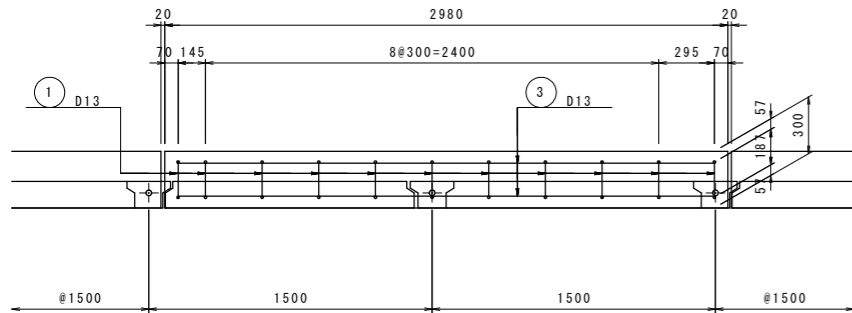
補強土壁工 詳細図 (2)

笠コンクリート工構造配筋一般図 S=1:20

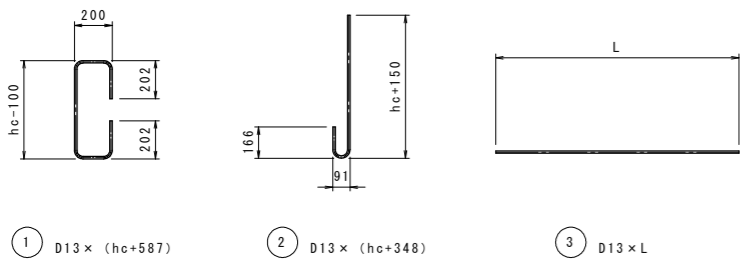
正面図



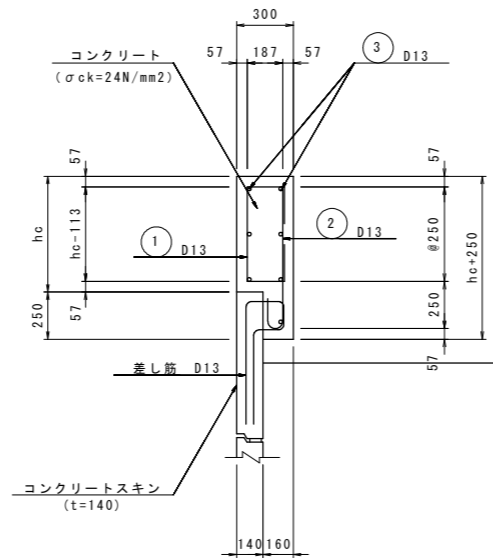
平面図



鉄筋加工図

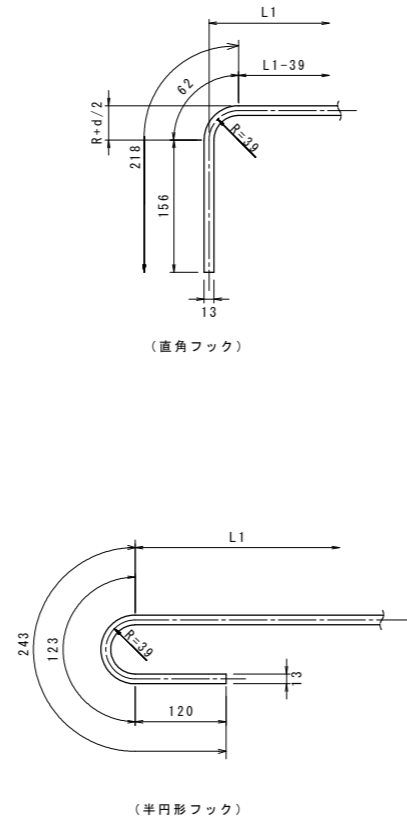


断面図



- 注 記) 1. hcは、笠コンクリート工前面高を示す。
2. 笠コンクリート高hc<300の場合は無筋構造としてもよい。
3. 目地材の設置位置は展開図を参照とする。

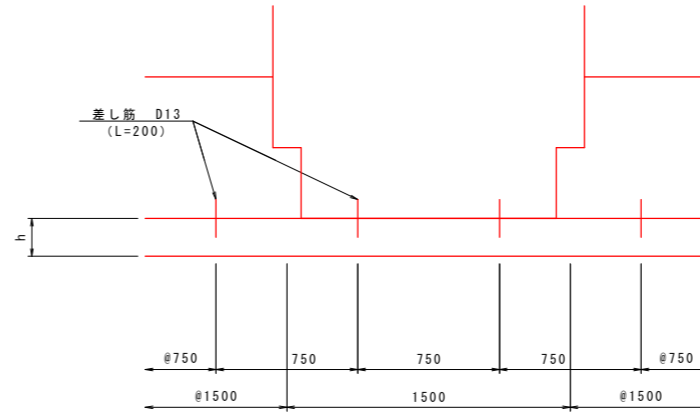
鉄筋曲げ加工図(参考図) S=1:5



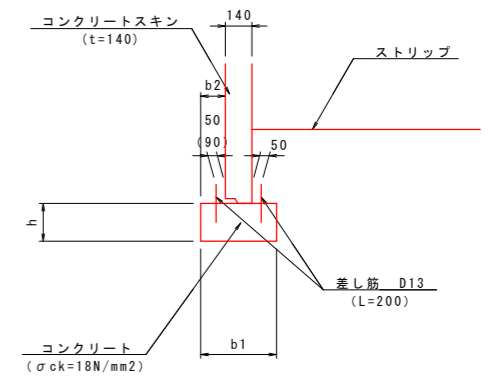
- 注 記) 1. 鉄筋の規格: SD345

基礎工(布基礎)構造一般図 S=1:20

正面図



断面図

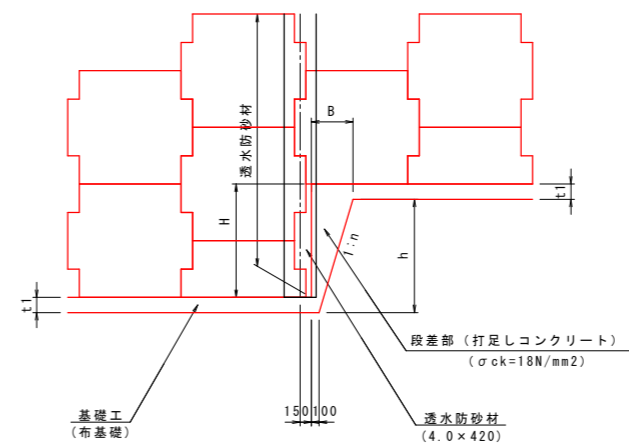


- 注 記)
1. () 内寸法は、デザインスキン使用時の差し筋位置を示す。
2. 基礎構造寸法 (b1, h) については、タイプ別に下表によるものとする。
3. スキンは、基礎中央に設定することを原則とする。

寸法表	単位: mm		
	h	b1	b2
B1タイプ	200	400	130
B2タイプ	300	600	230
B3タイプ	400	800	330
B4タイプ	500	1000	430

基礎工(布基礎)段差部一般図 S=1:50

切土部(岩)



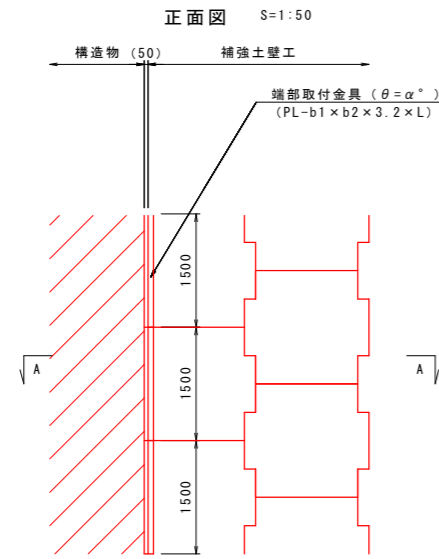
- 注 記) 1. 段差部の基礎形状は、展開図の基礎タイプに準拠し、下式より決定すること。
 $h = H + (t1 - t2)$
 $B = h \times n + 100$
尚、段差部の基礎幅は、t2に合わせる。
2. nは掘削勾配を示す。
3. 段差部(打足しコンクリート)とスキンの間隙には背面側に透水防砂材を設置すること。

実施設計図面

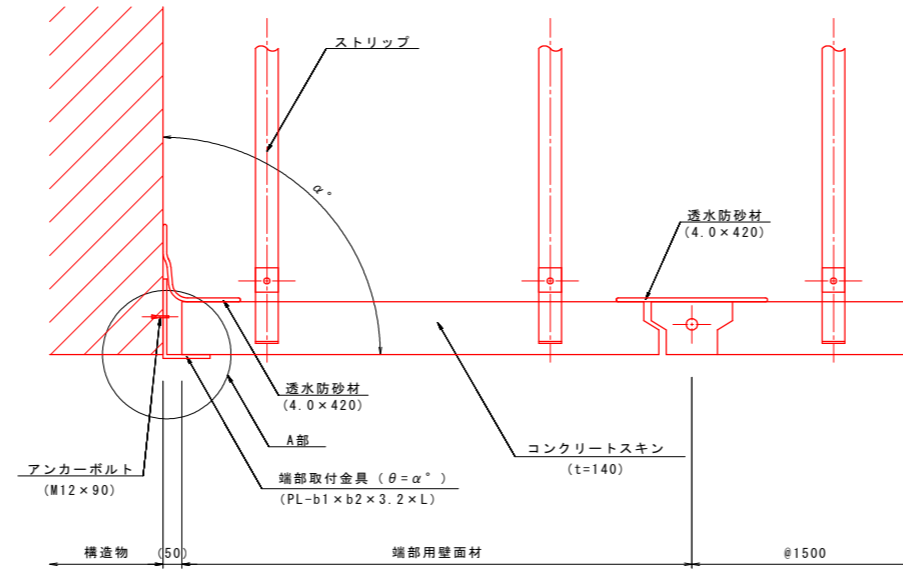
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	補強土壁工 詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	17 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)		

補強土壁工 詳細図 (3)

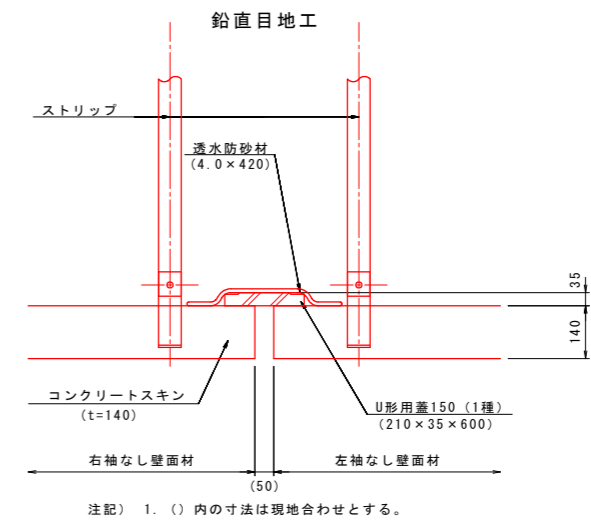
端部取付工詳細図



A-A 断面 S=1:10

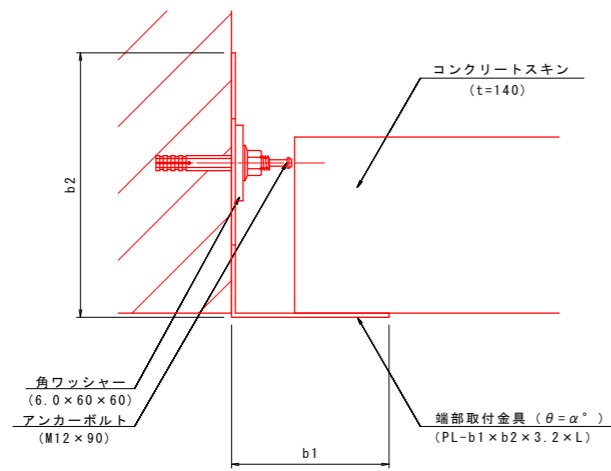


目地工詳細図 S=1:10



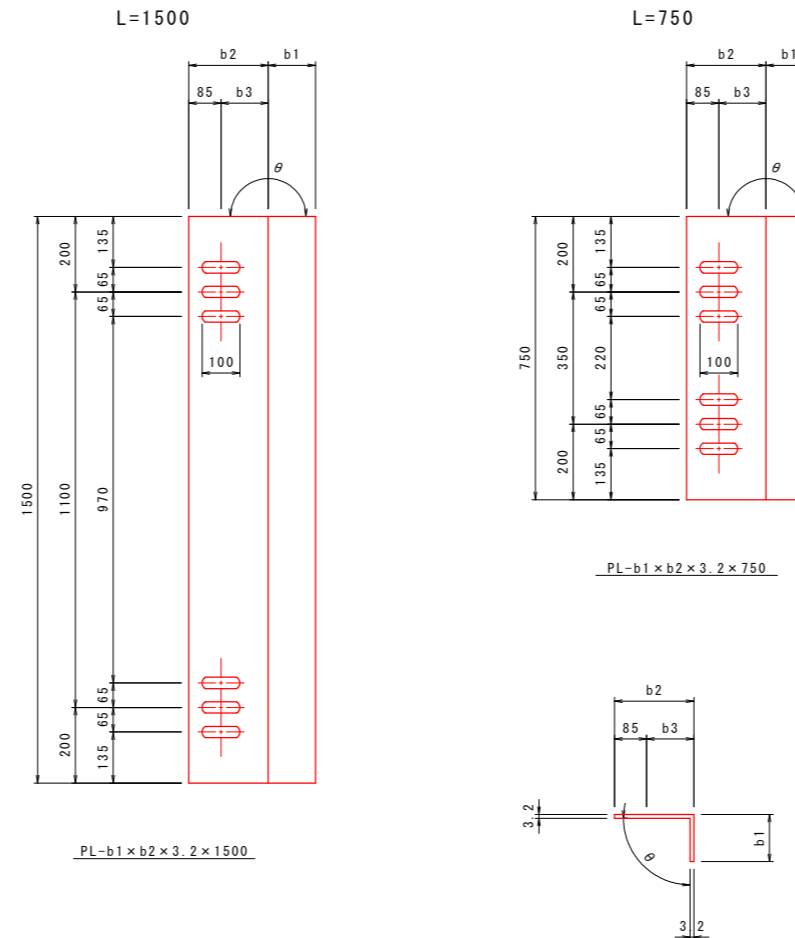
注 記) 1. () 内の寸法は現地合わせとする。

A部詳細図 S=1:3



注 記) 1. アンカーボルト (角ワッシャー含む) は、端部取付金具 1 本あたり 2 本設置する。

端部取付金具詳細図 S=1:10



寸法表

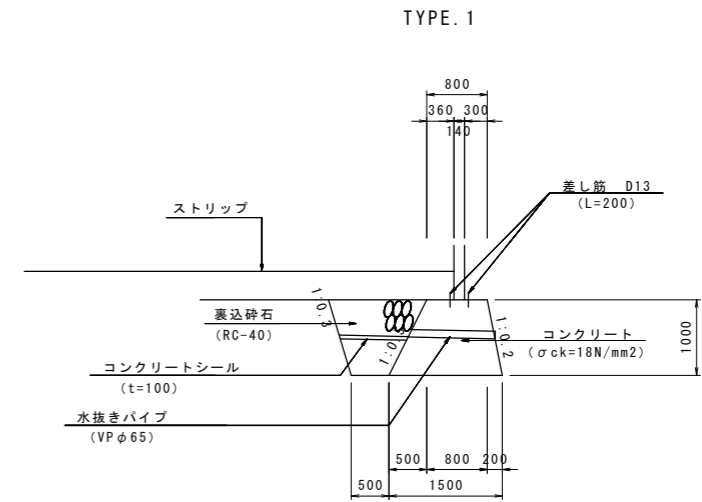
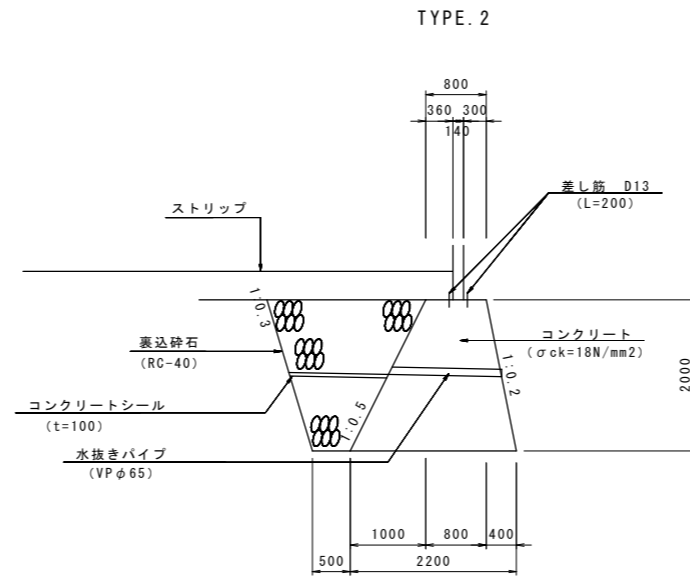
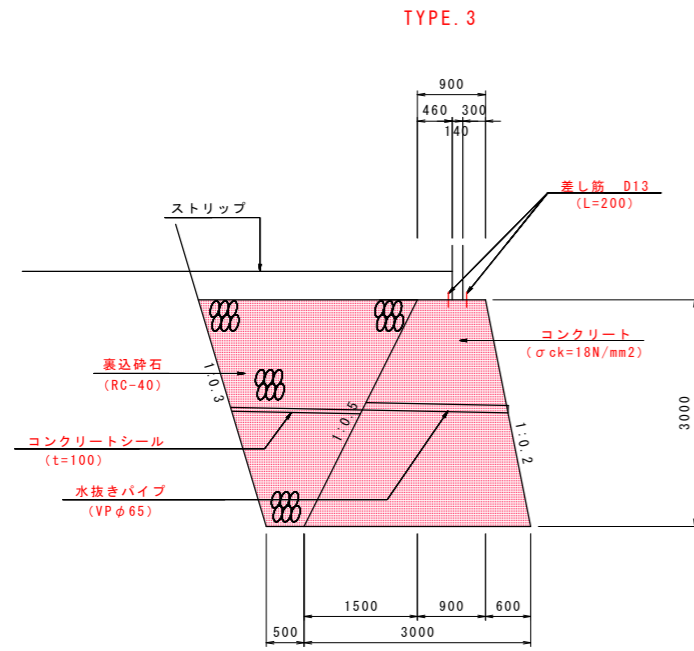
角度 (°)	b1 (mm)	b2 (mm)	b3 (mm)	材料規格・寸法 (SS400)	摘要
60.0~67.4	200	235	150	PL-200×235×3.2×L	
67.5~82.4	150	215	130	PL-150×215×3.2×L	
82.5~90.0	125	210	125	PL-125×210×3.2×L	
90.1~140.0	125	260	175	PL-125×260×3.2×L	

実施設計図面

工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	補強土壁工 詳細図 (3)		
縮尺	図示	図面番号	18 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

補強土壁工 詳細図 (4)

重力式基礎工詳細図 S=1:50



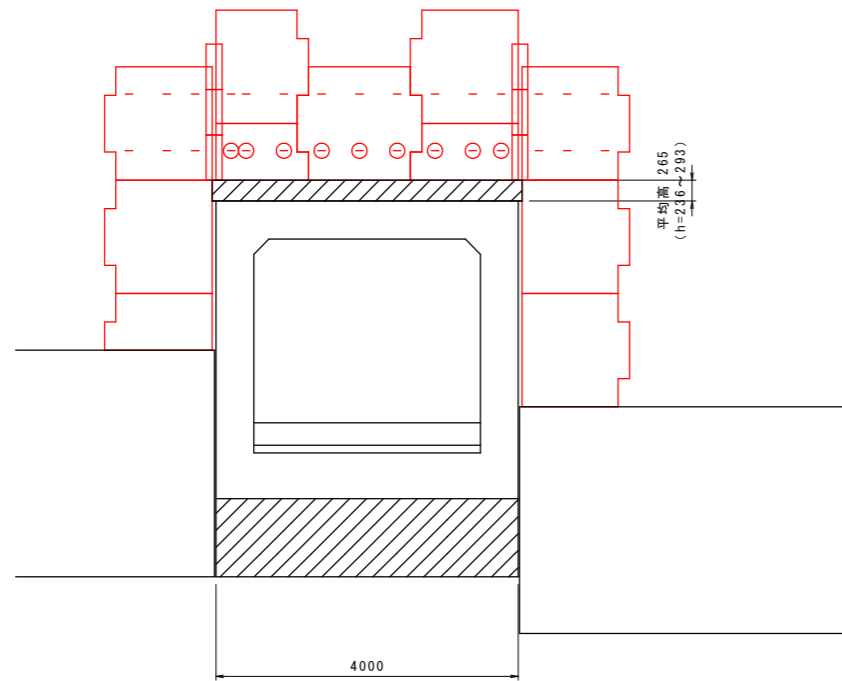
- 注 記)
1. 施工時に、基礎面での地耐力を確認し、支持力不足の場合については、別途基礎処理を行うこと。
 2. 現地にて岩盤の確認を行い、展開図に示す高さの組合せが変わる場合には、再度安定計算を行うこと。
 3. 伸縮目地 (t=10mm) は、10.0m以下もしくは、各ブロックごとに設けるものとする。
 4. 基礎面が仮掘削の影響を受ける場合は、コンクリートによる埋戻しを行うこと。
 5. 重力式基礎工の裏込土材は設計条件を満足し、且つ極力排水性の高い材料を選定すること。
 6. 重力式基礎工の水抜き孔 (パイプVP φ65) については、2.0~3.0m2に一箇所とし前面に排水できる高さに設置すること。
 7. 差し筋の設置については、布基礎に準拠し、壁前面側に露出する場合は、撤去(切断)し、モルタル整形にて腐食防止を行うこと。
 8. 他構造物との境界部には、伸縮目地を設けること。

実施設計図面			
工事名	R2三土 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	補強土壁工 詳細図 (4)		
縮 尺	1:50	図面番号	19 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

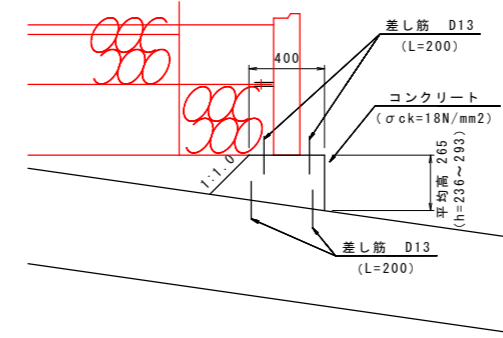
補強土壁工 詳細図 (5)

ボックス部調整コンクリート工詳細図

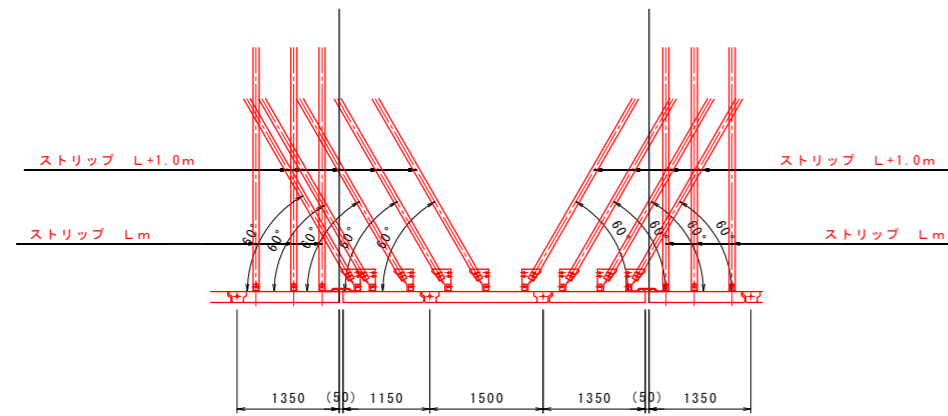
横断管部ストリップ取付詳細図 S=1:50



断面図 S=1:20



- 注 記) 1. 調整コンクリートの天端高さは、展開図を参照し、既定の高さに合わせて適宜調整すること。
2. 調整コンクリートとBOX部の差し筋は延長0.25m毎に設置すること。

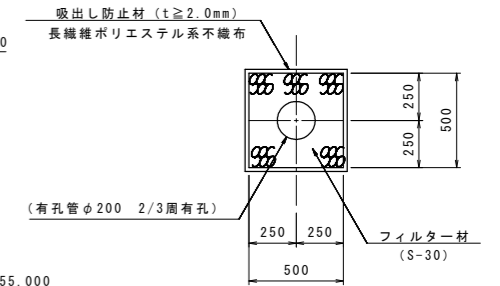
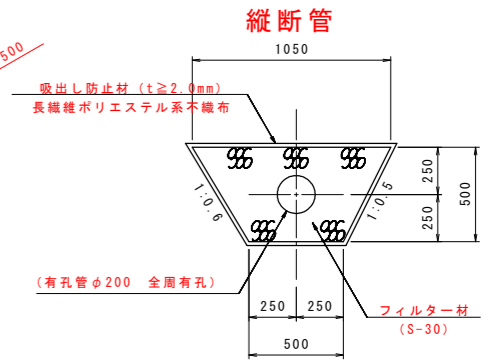
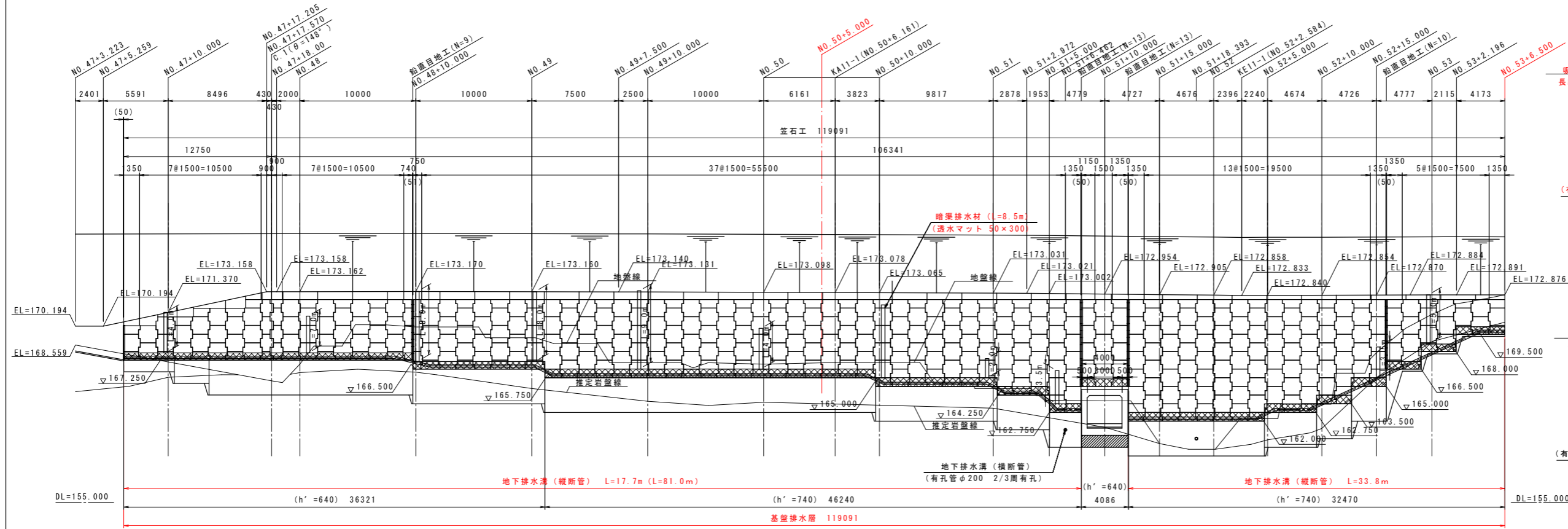


- 注 記)
1. 補強材長については、展開図を参照の事。
2. 構造物廻りの補強材の配置の際は、構造物との離隔を確保し、接触しないよう適宜調整すること。
3. 構造物及び壁面周辺は、小型機械により入念に転圧すること。

実施設計図面			
工事名	R2三土 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事		
路線名等	一般国道319号		
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷		
図面名	補強土壁工 詳細図 (5)		
縮 尺	図示	図面番号	20 / 22
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)		

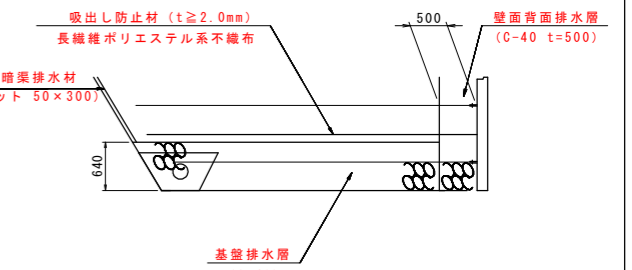
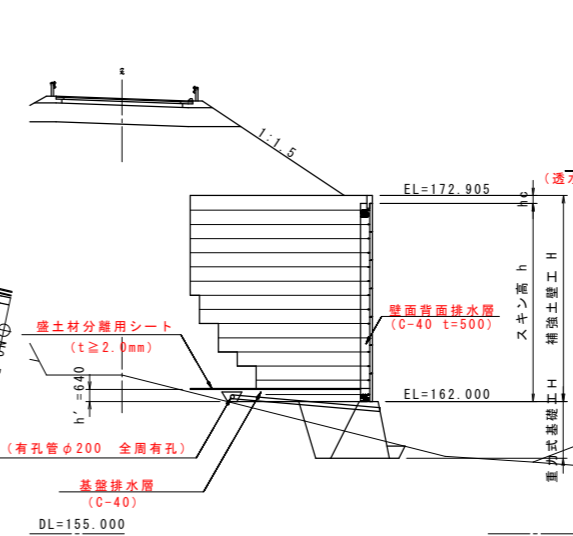
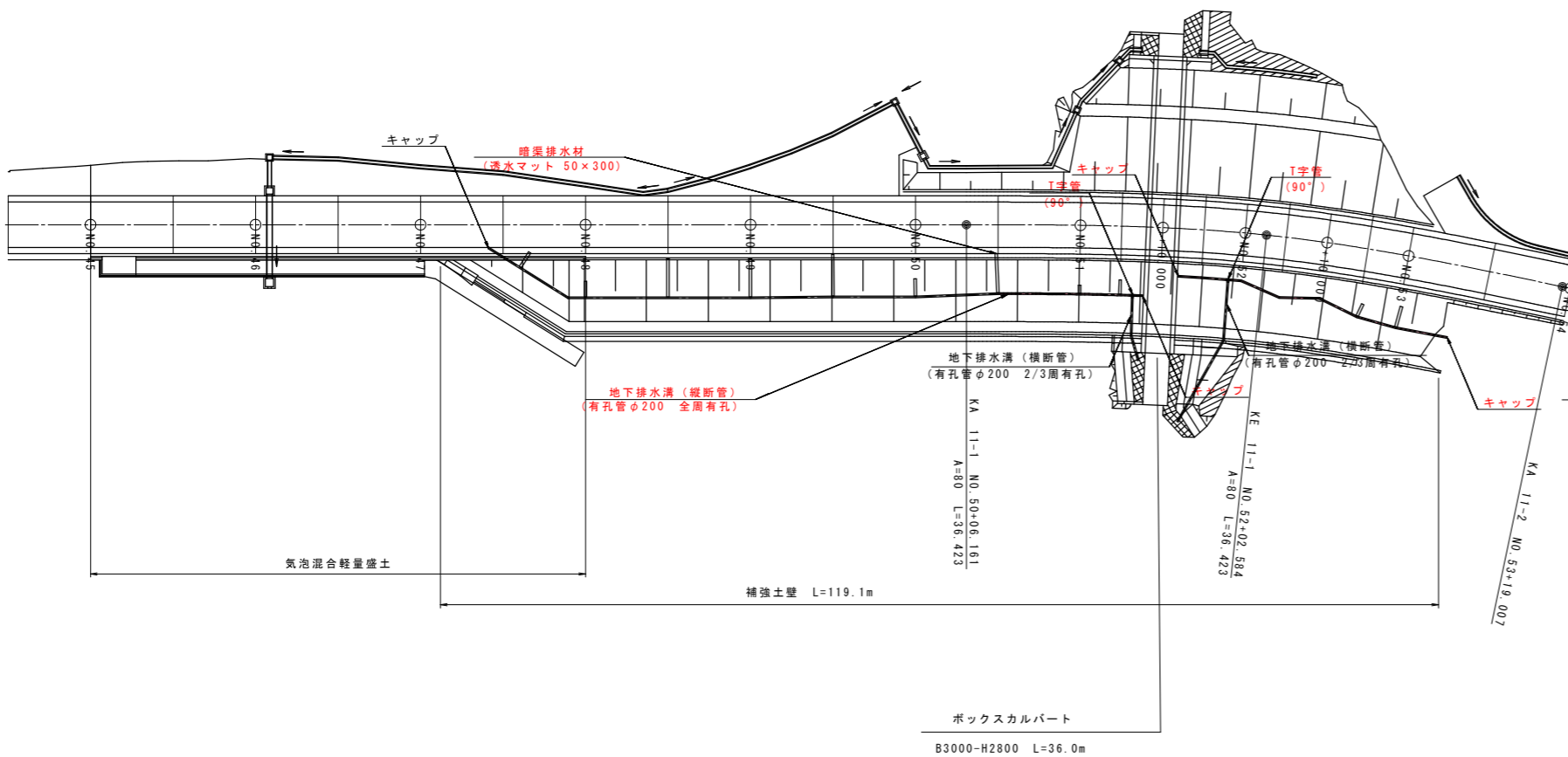
補強土壁工 排水工一般図

正面展開図 S=1:200



2. 地下排水溝及び暗渠排水材の敷設位置については、施工時に現場状況及び地下水状況を確認の上、決定すること。尚、特に著しい湧水等が見られる場合には、排水工（鉛直）間隔の再検討を行なうこと。
3. 暗渠排水材の規格については砕石層（500×500）と同等以上の排水能力を有するものとし、地下水及び湧水状況を確認の上決定すること。尚、設置区間は掘削面を基本とするが、現地状況に応じて適宜調整すること。（排水対策を要する区間に設置する。）
4. 横断管吐出し口前面は、洗戻防止対策を行なうこと。

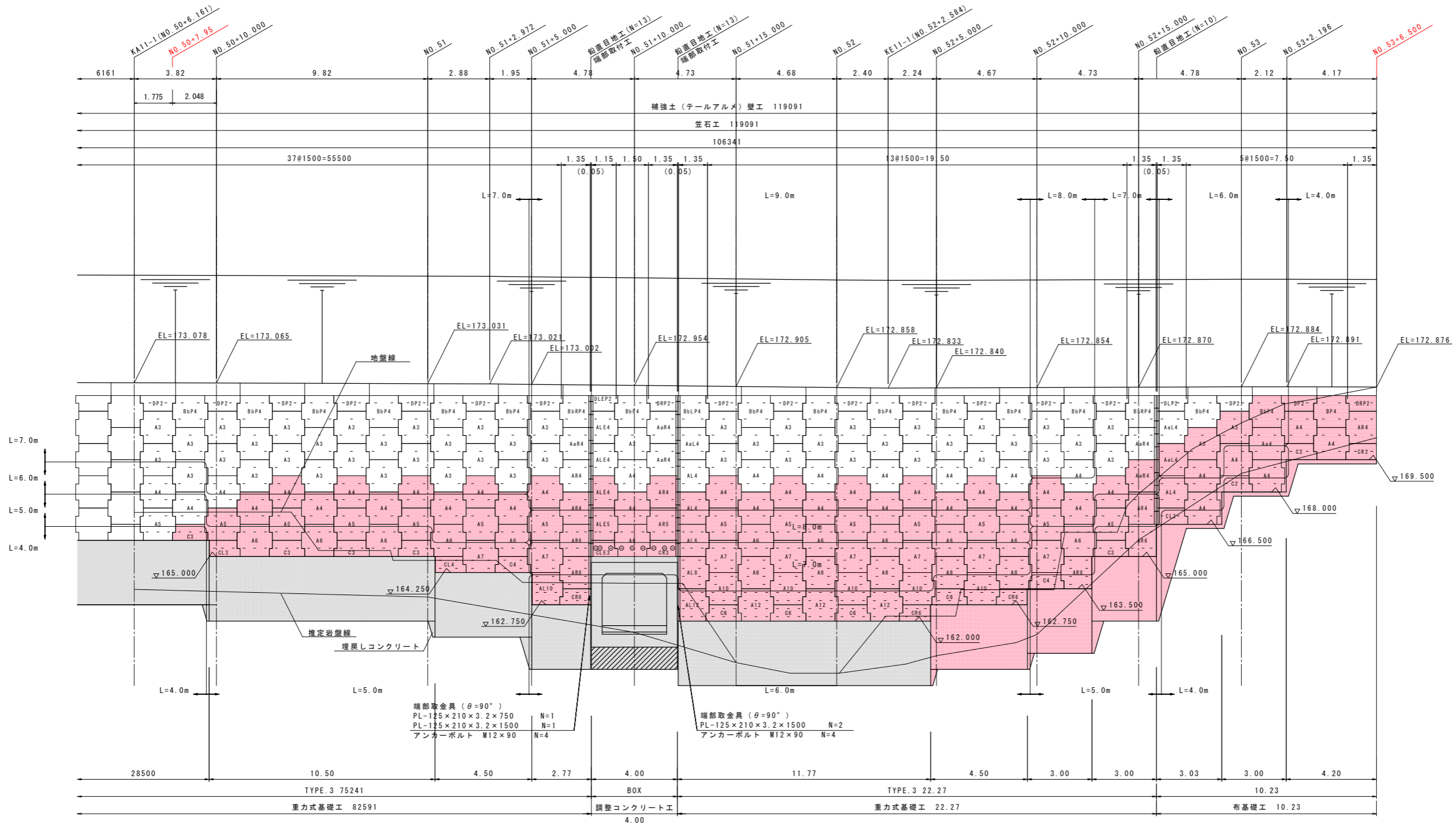
平面図 S=1:400



実施設計図面

工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	補強土壁工 排水工一般図
縮尺	図示 図面番号 21 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局 (三好庁舎)

補強土壁工正面展開図 S=1:100



実施設計図面	
工事名	R2三士 国道319号 三・山城小川谷 道路改良工事
路線名等	一般国道319号
工事箇所	徳島県三好市山城町小川谷
図面名	補強土壁工正面展開図
縮尺	1:100 図面番号 22 / 22
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局(三好庁舎)